

平成29年度
事業報告書



社会福祉法人 市原市社会福祉協議会

目 次

トップマネジメント、トップセールスの強化

1. 組織運営事業 1 頁

“社協の見える化・見せる化”の推進

1. 広報事業 3

人財育成及び人材確保

1. 職員研修 4

財政基盤の充実・強化

1. 社会福祉基金運用事業 5

みんなで支え合い助け合える地域づくり

1. 小域福祉ネットワーク・地区社協活動支援・運営支援 6
2. 地域づくりを支援する事業の充実 8
- ・ふれあいサロン事業
 - ・安心生活見守り支援事業
 - ・歳末たすけあい運動協力事業
 - ・敬老会事業
 - ・災害支援ボランティア事業

みんなの生活を支えるための体制づくり

1. 総合的な相談支援体制の充実 1 7
- ・いちほら総合相談・生活支援事業
2. 地域生活を支援する事業の充実 1 8
- ・日常生活支援事業
 - ・福祉サービス利用援助事業
 - ・ホームケアサービス事業
 - ・寝具乾燥・消毒及びクリーニングサービス事業
3. 子育て・高齢者・障がい者・生活困窮者支援活動の充実 2 1
- ・いちほらファミリー・サポート・センター事業
 - ・出産前後家事等サポート事業
 - ・生活支援体制整備事業
 - ・居宅介護支援事業
 - ・送迎ボランティアサービス事業
 - ・福祉カー貸出受託事業
4. 生活困窮者支援活動の充実 2 6
- ・生活福祉資金貸付事業
 - ・療養資金貸付事業
 - ・福祉資金貸付事業
 - ・応急法外援護事業

みんなの顔がつながる仕組みづくり

1. 福祉圏域間の連携・協働体制の強化 28
 - ・小域福祉ネットワーク連絡会議
 - ・地区社協連絡会

みんなで行き届くための基盤づくり

1. 地域福祉を支える多様な担い手の養成 29
 - ・人材育成事業
2. ボランティアセンター機能の強化 29
 - ・ボランティアセンター運営事業
3. 地域福祉推進体制の強化 35
 - ・民生委員活動推進事業
 - ・共催・後援等事業

指定管理施設の運営

1. 指定管理施設管理経営事業 37
 - ・老人福祉センター
 - ・姉崎保健福祉センター
 - ・三和保健福祉センター
 - ・南部保健福祉センター

トップマネジメント、トップセールスの強化

1. 組織運営事業

健全な社会福祉事業の経営と公正な法人運営を維持するため、次のとおり各会議を開催した。

(1) 正副会長会議

期 日	内 容
4月14日	1. 各会議体の日程調整について
5月18日	1. 平成29年度第1回理事会上程議案について
6月7日	1. 平成29年度第1回評議員会上程議案について 2. 平成29年度第2回理事会上程議案について 3. 地域福祉活動計画（たたき台（修正））について
7月4日	1. 第5次市原市地域福祉活動計画について 2. 地区行動計画（モデル案）について 3. 第3回理事会及び研修会の開催時期について
8月10日	1. 第3回理事会（役員研修会）について 2. 生活支援コーディネーター配置の考え方 3. 駐車場用地について
9月14日	1. 敬老事業について 2. 第3次社協発展・強化計画について（別添資料2-1～2-3） 3. 第5次市原市地域福祉活動計画について 4. 平成30年度の体制について 5. 駐車場用地について
10月16日	1. 敬老事業について 2. 平成29年度第3回理事会上程議案について
11月9日	1. 第3次社協発展・強化計画（たたき台）について 2. 今後の予定について
12月14日	1. 第3次社協発展・強化計画（たたき台）修正版について 2. 1月理事会及び役員研修会について
1月11日	1. 新たな高齢者福祉事業「通いの場」について 2. 第3次社協発展・強化計画（たたき台）について 3. 平成29年度第4回理事会上程議案及び役員研修会について
2月8日	1. 新たな高齢者福祉事業「通いの場」について 2. 「通いの場」実施に伴う「ふれあい・いきいきサロン」の基本的方向性（案）について 3. 地区社会福祉協議会への新たな財政支援策（助成制度）の考え方（案）について 4. 臨時理事会の開催について
3月8日	1. 平成29年度第6回理事会上程議案について 2. 平成29年度第2回評議員会上程議案について 3. 地区社会福祉協議会への新たな財政支援策（助成制度）の考え方（案）について 4. 平成30年度各会議体の日程調整について

(2) 理事会及び評議員会

項目	期日	議案等
監査	5月15日	平成28年度分監査
第1回理事会 (13名出席)	6月1日	議案第1号 平成28年度事業報告の承認について 議案第2号 平成28年度決算の承認について(監査報告) 議案第3号 平成29年度第1回補正予算案について 議案第4号 評議員候補者の選任について 議案第5号 評議員会の開催について
第1回評議員会 (44名出席)	6月26日	議案第1号 平成28年度事業報告の承認について 議案第2号 平成28年度決算の承認について(監査報告) 議案第3号 平成29年度第1回補正予算案について 議案第4号 役員の選任について
第2回理事会 (16名出席)	6月29日	議案第1号 会長の選任について 議案第2号 副会長の選任について 議案第3号 常務理事の選任について 議案第4号 平成29年度第2回補正予算案について 議案第5号 会計規程の一部改正について 議案第6号 社旗福祉法人市原市社会福祉協議会定款施行細則について 議案第7号 第5次市原市地域福祉活動計画の策定について
決議事項提案	7~8月	決議事項提案1 駐車場用地の借用について 決議事項提案2 補正予算について
第3回理事会 (18名出席)	10月26日	議案第1号 評議員候補者の選任について
第4回理事会 (17名出席)	1月31日	議案第1号 専決処分の承認を求めることについて 議案第2号 個人情報保護規程の改正について 議案第3号 平成29年度第2回評議員会の開催について
第5回理事会 (16名出席)	3月5日	協議検討事項1 新たな高齢者福祉事業「通いの場」について 協議検討事項2 「通いの場」実施に伴う「ふれあい・いきいきサロン」の基本的方向性(案)について
第2回評議員会 (36名出席)	3月26日	議案第1号 平成29年度第3回補正予算(案)について 議案第2号 役員の報酬、旅費及び費用弁償支給規則の一部改正について 議案第3号 成年後見制度専門相談業務の新規受託について 議案第4号 平成30年度事業計画(案)について 議案第5号 平成30年度予算(案)について 議案第6号 役員の選任について

(3) 常任委員会

期日	内容
12月5日	1. 第3次社協発展・強化計画について

(4) 評議員選任・解任委員会

期日	内容
6月7日	1. 評議員の選任について
11月28日	1. 評議員の選任について

(5) 役員研修

研修内容	研修内容	期間	研修場所	受講者数
役員研修会	社会福祉法人制度改革の概要とこれからの市町村社協に求められるもの	1月31日	サンプラザ市原	17名

【成果・課題】

成 果	平成29年度は、正副会長会の定例開催や常任委員会の開催など、各会議体の充実強化を図ることができた。また、理事会を6回開催し、経営体制のあり方等についても活発な意見交換が行われ、今後の組織運営に対する検討を行うなど、活性化が図れた。
課 題	正副会長会、理事会においては、経営者としての資質向上及び本会の抱える課題に対する検討の場をこれまで以上に充実・活性化し、ガバナンス強化及び事業運営の透明性を図っていく必要がある。

“社協の見える化・見せる化”の推進

1. 広報事業

社会福祉への意識の高揚と社協の活動・事業への理解、認識の向上を目的に広報活動を行った。

(1) 機関紙「いちほら社協だより」の発行

79,000部を年2回（町会全世帯回覧）、98,350部を年2回（新聞折込み）により市内各世帯に配布した。

号数	221号	222号	223号	224号
発行日	5月20日	9月5日	1月20日	3月5日
頁数	4頁	4頁	4頁	4頁

(2) ホームページの運営

最新の情報を掲載し、より見やすく、市民の皆様役に役立つ福祉情報を発信するため、ホームページの一部リニューアルを行い、情報提供の迅速化を図った。

市原市社会福祉協議会ホームページ：<http://www.ichihara-shakyo.or.jp>

【成果・課題】

成 果	ホームページにおいては、各部署において「お知らせ」をアップロードすることにより、市民に対してより最新の情報を提供することができた
課 題	より見やすく、わかりやすいものにするために検討を行っていくとともに、多くの市民に情報提供ができるようSNSの活用等についても検討していく。

人財育成及び人材確保

1. 職員研修

「職員研修規程」に基づき、職務の遂行に必要な資格、知識及び技術を習得させるとともに、社会福祉の向上に資するため次のとおり実施した。

(1) 職場研修

研修名	研修内容	期間	研修場所	受講者数
新規採用職員研修 (H29年度採用職員)	社協組織及び事業等、職員に必要な知識の習得	11月1日	事務局	1名
災害ボランティアセンター設置運営訓練	災害ボランティアセンター設置運営訓練、関係機関との連携強化	11月23日	事務局	28名
平成29年度生活支援体制づくりに向けた関係機関の職員による勉強会	・生活支援体制整備事業（協議体、生活支援コーディネーター）の意義と役割 ・生活支援サービスに期待されること	12月18日	事務局	27名

(2) 職場外研修

研修名	研修内容	期間	研修場所	受講者数
市町村社協事務局長会 研修会	事務局長として必要な知識やノウハウ等を学ぶ	5月17日	県社会福祉センター	1名
千葉社協職員連絡協議会 階層別研修	社協が目指す方向性や新任職員の役割を学ぶ	6月2日	県社会福祉センター	4名
市原市職員研修 (採用3年目職員研修)	役割を認識して問題意識を持ち、期待される能力の主体的な開発を目指す	10月4日 10月5日	市原市役所	4名
地域福祉・地区社協担当者 スキルアップ研修	地域におけるマネジメントスキルを学ぶ	10月20日	県社会福祉センター	5名
千葉社協職員連絡協議会 階層別研修	中堅職員としての役割や必要な要素、要件を学ぶ	11月24日	県社会福祉センター	2名

【成果・課題】

成果	各階層において外部研修に積極的に参加することで、知識の習得とともに、それぞれの役割を認識することができ、併せて他市町村の社協職員との情報交換等を行うことで、他市の状況を把握することができた。
課題	研修で得られた知識や情報をより有意義なものにするため、自身の業務への活用、並びに他の職員との共有が図れるよう、内部研修のあり方を見直し、人材育成に努めていく必要がある。

財政基盤の充実・強化

1. 社会福祉基金運用事業

(1) 社会福祉基金管理

寄附金、社会福祉基金の運用益及び福祉バザー収益金の一部を財源として社会福祉基金の増強を図った。

① 積立金

種別	積立預入先	金額
普通預金	千葉銀行	62,073,055円
定額預金	ゆうちょ銀行	10,000,000円
定期預金	J Aバンク	10,000,000円
定期預金	千葉興業銀行	10,000,000円
定期預金	京葉銀行	10,000,000円
定期預金	君津信用組合	10,000,000円
積立合計		112,073,055円

② 債券

種別	銘柄名	金額
公募地方債	政府保証債第284回日本高速道路保有債務返済機構債	100,000,000円
公募地方債	千葉県第10回公募公債	100,000,000円
合計		200,000,000円
社会福祉基金総額		312,073,055円

(2) 助成

先駆的・開拓的な在宅福祉サービス等の活動を地域で実践しているボランティア活動の安定した運営が図れるよう活動費の助成を行った。

実施事業名	助成団体数	助成金額
食事援助サービス	3団体	395,000円
福祉啓発及び地域づくり事業	1団体	40,000円
合計	4団体	435,000円

(3) 地区社協拠点等整備事業

地区社協の充実・強化を図るため社会福祉基金を取崩し、拠点等整備及び維持管理費の助成を行った。(整備順)

No.	地区名	拠点整備費	維持管理費	No.	地区名	拠点整備費	維持管理費
1	ちはら台	0円	240,000円	6	姉崎	0円	0円
2	市津	0円	240,000円	7	国分寺台	0円	29,621円
3	辰巳台	0円	240,000円	8	加茂	0円	0円
4	南総	0円	51,779円	9	有秋	0円	29,565円
5	三和	38,000円	37,350円				
拠点整備費合計：1地区 38,000円 (H25度からの累計 6,617,145円) 維持管理費合計：7地区 868,315円 (姉崎地区については平成30年度で対応)							

(4) 地区社協車両貸与事業

地区社協の生活課題を抱える地域住民への生活支援体制と充実強化に資するため、車両の貸与(リース)を行った。

No.	地区名	車両リース代	備考
1	辰巳台	158,112円(13,176円/月×12回)	コーディネーター支援及び買い物代行として

みんなで支え合い助け合える地域づくり

1. 小域福祉ネットワーク・地区社協の活動支援・運営支援

小域福祉ネットワークや市区社協で行われる会議に地区担当職員が参加し、必要な情報提供、助言、アドバイスをを行うなど積極的な支援に取り組んだ。

(1) 小域福祉ネットワーク一覧

地区名	校区名	ネットワーク名	設置年月日	安心生活見守り支援事業
辰巳台	辰巳台東小学校区	辰巳福祉ネットワーク	昭和 63 年 6 月 26 日	○
	辰巳台西小学校区			
	白幡小学校区			
市津	市東第二小学校区	市東第二小区小域福祉ネットワーク	平成 24 年 10 月 3 日	○
	湿津小学校区	湿津小学校区小域福祉ネットワーク	平成 25 年 11 月 27 日	○
	市東第一小学校区	市東第一小学校区小域福祉ネットワーク	平成 25 年 11 月 28 日	○
ちはら台	水の江小学校区	水の江小学校区小域福祉ネットワーク	平成 18 年 7 月 15 日	○
	清水谷小学校区	清水谷小学校区小域福祉ネットワーク	平成 20 年 12 月 1 日	○
	牧園小学校区	牧園小学校区小域福祉ネットワーク	平成 22 年 11 月 1 日	○
	ちはら台桜小学校区	ちはら台桜小学校区小域福祉ネットワーク	平成 24 年 3 月 30 日	○
国分寺台	国分寺台西小学校区	国分寺台西小学校区ふれあいネットワーク	平成 19 年 2 月 24 日	○
	国分寺台小学校区	国分寺台小学校区ふれんどネットワーク	平成 22 年 2 月 19 日	
	国分寺台東小学校区	国分寺台東小学校区思いやりネットワーク	平成 24 年 10 月 30 日	
姉崎	姉崎小学校区	姉崎小学校区小域福祉ネットワーク	平成 19 年 2 月 21 日	○
	明神小学校区	明神小学校区小域福祉ネットワーク	平成 21 年 4 月 25 日	
	青葉台小学校区	青葉台小学校区小域福祉ネットワーク	平成 22 年 8 月 1 日	
有秋	有秋南小学校区	有秋南小学校区安心安全ネットワーク	平成 24 年 1 月 23 日	○
	有秋西小学校区	有秋西小学校区小域福祉ネットワーク	平成 24 年 3 月 14 日	○
	有秋東小学校区	有秋東小学校区福祉ネットワーク	平成 24 年 3 月 21 日	
三和	市西小学校区	市西小学校区小域福祉ネットワーク	平成 20 年 8 月 2 日	○
	海上小学校区	海上小学校区小域福祉ネットワーク	平成 20 年 8 月 2 日	○
	養老小学校区	養老小学校区小域福祉ネットワーク	平成 20 年 8 月 2 日	○
	光風台小学校区	光風台小学校区小域福祉ネットワーク	平成 20 年 8 月 2 日	○
南総	牛久小学校区	牛久小学校区小域福祉ネットワーク	平成 19 年 1 月 26 日	○
	内田小学校区	内田小学校区小域福祉ネットワーク	平成 20 年 1 月 22 日	○
	寺谷小学校区	寺谷小学校区小域福祉ネットワーク	平成 20 年 2 月 21 日	○
	平三小学校区	平三地区小域福祉ネットワーク	平成 20 年 6 月 20 日	○
	鶴舞小学校区	鶴舞地区小域福祉ネットワーク	平成 20 年 7 月 8 日	○
	戸田小学校区	戸田小学校区小域福祉ネットワーク	平成 21 年 2 月 28 日	○
加茂	旧白鳥小学校区	白鳥地区小域福祉ネットワーク	平成 26 年 2 月 22 日	○
	旧富山小学校区	富山地区小域福祉ネットワーク	平成 26 年 2 月 23 日	○
	旧高滝小学校区	高滝地区小域福祉ネットワーク	平成 26 年 2 月 25 日	○
	旧里見小学校区	里見地区小域福祉ネットワーク	平成 26 年 3 月 24 日	○
五井	白金小学校区	白金小学校区スマイルネットワーク	平成 24 年 3 月 24 日	○
	若葉小学校区	わかば福祉ネットワーク	平成 24 年 4 月 12 日	
	千種小学校区	千種小学校区小域福祉ネットワーク	平成 25 年 4 月 20 日	
	東海小学校区	東海小・中学校区小域福祉ネットワーク	平成 25 年 5 月 26 日	

五井	国府小学校区	国府小学校区小域福祉ネットワーク	平成25年10月9日	○
	五井小学校区	五井福祉ネットワーク	平成29年12月9日	
市原	若宮小学校区	若宮小学校区まんまるネットワーク	平成22年5月22日	○
	石塚小学校区	石塚小学校区小域福祉ネットワーク	平成24年3月25日	○
	五所小学校区	五所小学校区小域福祉ネットワーク	平成24年7月1日	○
	菊間小学校区	菊間小学校区小域福祉ネットワーク	平成25年3月2日	
	八幡小学校区	八幡小学校区小域福祉ネットワーク	平成25年7月14日	
合 計		42団体（44学校区）		実施32団体 (34校区)

小域福祉ネットワークにおける各会議体の実施概要

開催日数	延参加人数
383日	6,211名

【成果・課題】

成 果	地区社協や地域関係者と打ち合わせを重ねた結果、五井小学校区で新設、また、市原小学校区で設立の承認を得ることができた。また、各種会議や事業などに、地区担当職員が積極的に参加し、地域の課題に応じた情報提供やアドバイスなど継続的な支援を行うことで、新たに世代間交流が3校区、スクールガードが2校区、広報紙が4校区で発行されるなど活動の拡充を図ることができた。
課 題	法改正等によって、地域に求められる役割と期待がこれまで以上に増しており、地域では負担感が大きくなっている。専門知識を有する地区担当職員が的確な情報提供や他市等の先駆的事例等の提供、担い手の拡充策など必要な支援を行うなどの対応を図りながら負担感を軽減し、活性化を図っていく必要がある。

(2) 地区社協事業一覧

		辰巳台	市津	ちはら台	国分寺台	姉崎	有秋	三和	南総	加茂	五井	市原
基本事業	ふれあいサロン事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	敬老会事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広報・啓発事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	歳末たすけあい運動協力事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	連携・協働体制づくり事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高齢者地域支え合い事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	地区行動計画策定・推進事業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
先駆的・開拓的事业	日常生活支援事業 (住民参加型在宅福祉サービス)	○		○				○				
	日常生活支援事業 (事業化・活性化推進サービス)	○	○				○					
	相談支援事業	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	人材育成事業	○	○	○	○				○			
	災害支援ボランティア事業				○		○	○	○			

(※●は、今年度から実施)

地区社協における各会議体の実施概要

開催日数	延参加人数
315 日	3,939 名

【成果・課題】

成 果	今年度からの新たな取り組みである、地区行動計画策定の策定については、全ての地区において策定委員会等を設置し、地区内の課題抽出を行うなど、抱える課題の共有を図ることができた。その課題に対応するため地区での統一した目標・方向性を示すための、計画策定作業が進められている。また、高齢者地域支え合い事業では、第2層協議体の意義や必要性について、理解を深めてもらうなど、その設置に向けた環境整備を行うことができた。
課 題	法改正や地域共生社会といった新たな考えが示される中、本市の中域福祉圏の推進役である地区社協の役割と期待は、益々大きくなっている。専門知識を有する地区担当職員が的確な情報提供や他市等の先駆的な事例提供、担い手の拡充策など必要な支援を行うなどの対応を図る必要がある。また、今後、求められる取組みに対応するために地区社協の組織力・運営基盤の強化を図る必要がある。

2. 地域づくりを支援する事業の充実

(1) ふれあいサロン事業の推進

① いきいきサロン

高齢者等に対して、地域住民やボランティアの参画を得て、ふれあいの場や仲間づくりの場等を提供し、地域の中で誰もが安心して暮らせるよう、福祉コミュニティづくりを推進するために実施した。

地 区	会場数	開催日数	延参加者数	延支援者数
辰巳台	4 会場	52 日	1,418 名	472 名
市 津	9 会場	78 日	2,686 名	363 名
国分寺台	3 会場	16 日	578 名	156 名
ちはら台	2 会場	22 日	692 名	376 名
姉 崎	3 会場	30 日	1,198 名	508 名
有 秋	2 会場	21 日	332 名	262 名
三 和	5 会場	34 日	746 名	488 名
南 総	12 会場	90 日	2,290 名	678 名
加 茂	1 会場	11 日	469 名	42 名
五 井	4 会場	24 日	673 名	299 名
市 原	7 会場	157 日	3,270 名	1,209 名
合 計	52 会場	535 日	14,352 名	4,853 名

② はつらつサロン

心身障がい者（児）等に対して、地域住民やボランティアの参画を得て、ふれあいの場や仲間づくりの場等を提供し、地域の中で誰もが安心して暮らせるよう、福祉コミュニティづくりを推進するために実施した。

地 区	会場数	開催日数	延参加者数	延支援者数
国分寺台	1 会場	4 日	66 名	9 名
ちはら台	1 会場	4 日	72 名	127 名
合 計	2 会場	8 日	138 名	136 名

③ 子育てサロン

子育て家庭等に対して、地域住民やボランティアの参画を得て、ふれあいの場や仲間づくりの場等を提供し、地域の中で誰もが安心して暮らせるよう、福祉コミュニティづくりを推進するために実施した。

地区	会場数	開催日数	延参加者数	延支援者数
辰巳台	3会場	156日	1,720名	454名
市津	1会場	9日	200名	100名
国分寺台	1会場	34日	821名	291名
ちはら台	3会場	194日	1,408名	746名
姉崎	1会場	12日	547名	185名
有秋	1会場	11日	436名	140名
三和	1会場	10日	216名	219名
南総	1会場	10日	202名	203名
五井	1会場	10日	682名	200名
市原	5会場	73日	2,078名	438名
合計	18会場	519日	8,310名	2,976名

サロン事業 合計	開催日数	延参加者数	延支援者数
	1,062日	22,800名	7,965名

【成果・課題】

成果	事業全体として、4会場が増設され、72会場、延べ22,800名もの参加を得、子育て家庭や障がい、高齢者の孤立防止及び集い・交流の場として市民の方々に利用いただくことができた。
課題	市原市が平成30年度から新たな高齢者福祉事業として実施する「通いの場」事業の進捗状況等に応じて、適宜必要な見直しを実施する必要がある。また現在は対象者を限定した事業となっていることから、全ての地域住民を対象とした交流の場づくり（仲間づくり）について検討をしていく必要がある。

(2) 安心生活見守り支援事業の推進

一人暮らし高齢者や障がい者世帯、高齢者のみ世帯などの社会的な孤立を防ぐために、定期的な見守り・声掛けを行う安心生活見守り支援事業を実施した。

【地区別実績】

地区	見守り希望者数	訪問員数	延訪問回数
辰巳台地区	137名	114名	1,896回
市津地区	48名	70名	674回
国分寺台地区	41名	31名	472回
ちはら台地区	11名	28名	231回
有秋地区	26名	37名	128回
三和地区	149名	88名	645回
南総地区	176名	250名	1,703回
加茂地区	106名	119名	1,239回
五井地区	81名	115名	1,142回
市原地区	150名	214名	2,228回

実施数	見守り希望者数	安心訪問員数	延訪問回数
32 ネットワーク (34 小学校区)	925 名	1,066 名	10,358 回

【成果・課題】

成 果	NW役員と地区担当職員が打合せや会議等を重ねた結果、今年度新たに6校区で実施することができた。また、安心訪問員を対象とした基礎研修やフォローアップ研修など、継続、安定した事業活動を支援することにより、見守り希望者が約200名の増加、安心訪問員が約180名の増加につながった。
課 題	未実施校区における事業の必要性和意義について関係者の理解を求めていく。また、見守り以外の支援を必要とする希望者に対しては、関係機関等と連携しながら、必要な支援活動に取り組んでいく必要がある。

(4) 福祉バザー事業・歳末たすけあい募金事業の推進

歳末たすけあい運動への協力として、福祉バザー、歳末たすけあい募金を実施した。

① 福祉バザー

地 区	会 場	売上金	寄附金等	合 計
辰巳台	辰巳公民館	221,811 円	10,278 円	232,089 円
市 津	市津公民館	297,670 円	256,278 円	553,948 円
ちはら台	ちはら台支所駐車場	106,700 円	4,743 円	111,443 円
姉 崎	姉崎保健福祉センター	339,950 円	11,000 円	350,950 円
有 秋	有秋公民館	253,935 円	4,276 円	258,211 円
三 和	三和コミュニティセンター	208,140 円	39,603 円	247,743 円
南 総	南総公民館	494,235 円	189,874 円	684,109 円
合 計		1,922,441 円	516,052 円	2,438,493 円

会場数	参加者数	支援者数
7 会場	3,050 名	644 名

② 歳末たすけあい募金

地区名	募 金 額
国分寺台	388,616 円
加 茂	173,500 円
五 井	1,135,965 円
市 原	797,430 円
街頭募金	31,046 円
イベント募金	115,902 円
合 計	2,642,459 円

【成果・課題】

成 果	近年では、各地区で献品の数が減少傾向にある中、役員や関係機関の努力と協力により売り上げ、寄付金ともにほぼ横ばいの状況を保つことができている。
課 題	バザーに代わる新たな財源確保策について検討していく必要がある。

(5) 歳末見舞金配布事業・地域福祉支援事業の推進

歳末たすけあい事業の一環として歳末にあたり、だれもが明るいお正月を迎えられるよう、ボーダーライン世帯に対して見舞金を配布した。また、歳末の時期に支援を必要とする方々が安心して暮らすことができる地域社会づくりの取り組みを推進するため、地域福祉活動を行う団体に助成を行った。

内 容	金 額	H28 度	比較
生活困窮世帯見舞金	2,248,000 円 (1 世帯あたり 8,000 円×281 世帯)	3,207,000 円	△959,000 円
地域福祉支援事業	1,365,000 円 (35 団体)	1,410,000 円	△45,000 円
合 計	3,613,000 円	4,617,000 円	△1,004,000 円

【成果・課題】

成 果	限られた財源の有効活用を図るために、歳末見舞金の見直しを行った。また、歳末の時期に地域住民の交流促進及び地域福祉活動への理解促進を図ることを目的とした地域福祉支援事業の助成金額を見直し、全ての対象団体が事業実施できるよう環境整備を行い、35 団体（5 団体増）が実施した。
課 題	地域による日常的、継続的な支援につなげていくために、金銭的な支援（歳末見舞金配布事業）から事業による支援（地域福祉支援事業）への移行を進めるとともに実施団体の拡充を図っていく。

(6) 敬老会事業の実施

高齢者の長寿を祝うことを目的に、地区社協が実施主体となり、地域住民等による演芸など、趣向を凝らした敬老会を実施した。

【町会・自治会単位で分散した地区】

No.	実施地区	会場	対象者数	参加者数	出席率	29年度	28年度	28年度比
			35,756名	8,796名	24.6%	地区出席率	出席率	(ポイント)
1	五井地区 (若葉/千種) (旧五井/東海)	若葉集会場(若葉)	106名	45名	42.5%	23.2%	27.0%	-3.8
2		川岸公民館(パームハイツ五井)	15名	8名	53.3%			
3		松ヶ島ニュータウン自治会館(松ヶ島ニュータウン)	50名	28名	56.0%			
4		千種コミュニティーセンター(西青柳・青柳台・千種3、4丁目)	359名	63名	17.5%			
5		町会長宅(元浜団地)	14名	13名	92.9%			
6		白塚自治会館(白塚)	129名	48名	37.2%			
7		柏原自治会館(柏原)	64名	9名	14.1%			
8		北青柳公民館(北青柳)	203名	42名	20.7%			
9		谷島野公民館(谷島野)	254名	57名	22.4%			
10		ヴェラハイツ集会所(ヴェラハイツ)	6名	6名	100.0%			
11		松ヶ島公民館(松ヶ島)	97名	12名	12.4%			
12		いちの膳(わかば苑)	39名	25名	64.1%			
13		今富町民会館(今富)	118名	23名	19.5%			
14		柳原自治会館(西野・一五沢・柳原・小折)	90名	24名	26.7%			
15		川岸公民館(川岸上町・川岸仲町・川岸三軒町)	378名	50名	13.2%			
16		岩野見公民館(岩野見)	58名	16名	27.6%			
17		今津朝山公民館(宿・内出・三ヶ郷・千種1・2丁目)	320名	35名	10.9%			
18		椎の実公民館(椎の実)	68名	28名	41.2%			
19		ダイアパレス集会室(ダイアパレス五井)	7名	6名	85.7%			
20		川岸公民館(五井中央)	77名	16名	20.8%			
21		上郷公民館(上郷)	33名	12名	36.4%			
22		引田公民館(引田・神代)	44名	21名	47.7%			
23	市原地区	いちの膳(山木台)	40名	19名	47.5%	27.9%	27.0%	0.9
24		能満公民館(宮の前)	27名	20名	74.1%			
25		町会長宅(新町)	14名	12名	85.7%			
26		三井倶楽部「寿苑」(弁天台)	75名	15名	20.0%			
27		古市場会館(古市場)	276名	81名	29.3%			
28		大宮町会会館(大宮・白幡台・末広・若潮・千種・天神台・蟬尻・東宿・景山・宮の下・むつみ・郡本市営住宅)	195名	45名	23.1%			
29		新市原会館(新市原)	75名	21名	28.0%			
30		能満区分公民館(能満区分・緑ヶ丘・四辻・能満東・緑・能満関戸)	669名	200名	29.9%			
31		市原公民館(阿須波台・和泉・市原・椿森・日の宮)	253名	62名	24.5%			
32		門前町会会館(門前)	36名	30名	83.3%			
33		能満公民館(能満)	92名	24名	26.1%			

34	市原地区	山田橋自治会館(山田橋)	150名	25名	16.7%	27.9%	27.0%	0.9
35		郡本自治会館(郡本)	227名	31名	13.7%			
36		藤井町会館(藤井)	115名	29名	25.2%			
37		小旅行(竹之内)	84名	35名	41.7%			
38		町会長宅(弁才天)	6名	3名	50.0%			
39		市営山木住宅集会所(新山木住宅・山木団地)	49名	49名	100.0%			
40		若宮団地連合自治会館(若宮1丁目)	198名	81名	40.9%			
41		若宮団地連合自治会館(若宮5丁目)	151名	36名	23.8%			
42		若宮団地連合自治会館(若宮7丁目)	57名	30名	52.6%			
43		若宮団地連合自治会館(若宮4丁目)	227名	76名	33.5%			
44		若宮団地連合自治会館(若宮6丁目)	180名	62名	34.4%			
45		若宮団地連合会館(若宮2丁目)	222名	88名	39.6%			
46		若宮団地連合自治会館(若宮3丁目)	204名	87名	42.6%			
47	辰巳台地区	辰巳萬緑苑(萬緑苑)	37名	37名	100.0%	50.9%	40.1%	10.8
48		辰巳台西第3県営住宅集会所(西1-4)	33名	19名	0.0%			
49		新辰巳台町会公民館(新辰巳)	176名	78名	44.3%			
50		辰巳地区連合町会集会所(辰巳台東1丁目1)	43名	13名	30.2%			
51	三和地区	糸久公民館(糸久)	21名	6名	28.6%	35.8%	37.9%	-2.1
52		山倉公民館(山倉)	98名	25名	25.5%			
53		海士公民館(海士)	91名	19名	20.9%			
54		福増公民館(福増)	71名	32名	45.1%			
55		新堀公民館(新堀)	108名	35名	32.4%			
56		川在農村協同館(川在)	44名	12名	27.3%			
57		新巻町民会館(新巻)	29名	12名	41.4%			
58		権現堂自治会館(権現堂)	51名	11名	21.6%			
59		高坂自治会館(高坂)	29名	29名	100.0%			
60		光風台自治会館(1丁目西)	51名	24名	47.1%			
61		有木公民館(有木)	62名	22名	35.5%			
62		大坪公民館(大坪)	81名	20名	24.7%			
63		各敬老者宅訪問(新区)	28名	27名	96.4%			
64		武士公民館(武士)	34名	10名	29.4%			
65		磯ヶ谷自治会館(磯ヶ谷)	168名	35名	20.8%			
66		大桶公民館(大桶)	49名	21名	42.9%			
67		実行委員長宅(みすみ)	5名	5名	100.0%			
68		ケアハウス向日葵内(向日葵)	34名	34名	100.0%			
69		あじさい苑内(あじさい苑)	17名	17名	100.0%			
70		いちまる食堂(安須)	47名	11名	23.4%			
71		光風台自治会館(5丁目西)	64名	10名	15.6%			
72		小野山公民館(小野山)	69名	37名	53.6%			
73		松崎自治会館(松崎)	65名	24名	36.9%			

74	三和地区	二日市場自治会館（二日市場）	51名	24名	47.1%	35.8%	37.9%	-2.1
75		新生自治会館（新生）	42名	18名	42.9%			
76		百合ヶ丘公民館（百合ヶ丘）	48名	24名	50.0%			
77		相川公民館（相川）	23名	12名	52.2%			
78		土宇自治会館（土宇）	101名	40名	39.6%			
79		光風台自治会館（3丁目南）	49名	10名	20.4%			
80		光風台自治会館（4丁目南）	86名	21名	24.4%			
81		百合丘公民館（光風台坂上）	25名	7名	28.0%			
82		光風台自治会館（4丁目北）	104名	21名	20.2%			
83		山田自治会館（山田）	95名	45名	47.4%			
84		浅井小向自治会館（浅井小向）	38名	22名	57.9%			
85		光風台自治会館（3丁目中・3丁目北）	146名	26名	17.8%			
86		サンハート（三又）	43名	17名	39.5%			
87		中谷原公民館（中谷原）	38名	24名	63.2%			
88		櫃挾町会集会所（櫃挾）	9名	8名	88.9%			
89		分目自治会館（分目）	36名	10名	27.8%			
90		光風台自治会館（2丁目中央）	84名	29名	34.5%			
91		サンビューホール（サンビュー）	9名	9名	100.0%			
92		光風台自治会館（1丁目東）	44名	13名	29.5%			
93		光風台自治会館（5丁目東）	91名	28名	30.8%			
94	宮原自治会館（宮原）	41名	15名	36.6%				
95	南総地区 （寺谷）	ときわ台自治会館（ときわ台）	25名	12名	48.0%	47.6%	35.1%	12.5
96		吉野台自治会館（吉野台）	178名	61名	34.3%			
97		小勝山自治会館（小勝山）	358名	108名	30.2%			
98		栢橋自治会館（栢橋）	43名	41名	95.3%			
99		南岩崎自治会館（南岩崎）	47名	46名	97.9%			
100		寺谷青年館（寺谷）	31名	22名	71.0%			
101		西国吉自治会館（西国吉）	66名	66名	100.0%			

【大型会場で実施した地区】

No.	実施地区	会場	対象者数	参加者数	出席率	29年度	28年度	28年度比
			34,440名	8,318名	24.2%	地区出席率	出席率	(ポイント)
102	姉崎地区	姉崎保健福祉センター（姉崎）	2,068名	372名	18.0%	22.9%	23.4%	-0.5
103		青葉台小学校（青葉台）	1,479名	439名	29.7%			
104	五井地区	若葉中（君塚・白金地区）	783名	153名	19.5%	21.5%	21.1%	0.4
105		東海小学校（東海地区）	785名	162名	20.6%			
106		五井小学校（旧五井地区）	1,941名	362名	18.7%			
107		京葉小学校（京葉地区）	762名	242名	31.8%			
108	市原地区	菊間コミュニティセンター（菊間）	1,256名	328名	26.1%	21.9%	25.8%	-3.9
109		五所小学校（五所）	811名	169名	20.8%			
110		八幡公民館（八幡）	2,141名	425名	19.9%			

111	辰巳台地区	辰巳公民館	1,232名	375名	30.4%	30.4%	30.8%	-0.4
112	市津地区	市津公民館	2,241名	307名	13.7%	13.7%	14.7%	-1.0
113		蒼田グリーンヒルセンター集会所(グリーンヒル)	358名	80名	22.3%			
114	加茂地区	加茂公民館	1,472名	297名	20.2%	20.2%	19.6%	0.6
115	有秋地区	姉崎保健福祉センター(有秋)	1,677名	326名	19.4%	19.4%	20.5%	-1.1
116	ちはら台地区	清水谷小学校体育館(清水谷)	414名	125名	30.2%	30.5%	30.6%	-0.1
117		水の江小学校体育館(水の江)	160名	71名	44.4%			
118		ちはら台桜小学校体育館(桜)	172名	52名	30.2%			
119		牧園小学校体育館(牧園)	305名	73名	23.9%			
120	国分寺台地区	市民会館大ホール(国分寺台)	2,453名	597名	24.3%	24.3%	26.0%	-1.7
121	南総地区	旧平三小学校(平三)	224名	70名	31.3%	19.5%	19.9%	-0.4
122		南総公民館(牛久)	1,211名	185名	15.3%			
123		戸田小学校(戸田)	1,071名	237名	22.1%			
124		鶴舞看護学校(鶴舞)	719名	121名	16.8%			
125		内田小学校(内田)	314名	76名	24.2%			

【地区別実績】

地区名	対象者数	参加者数	出席率
姉崎地区	3,547名	811名	22.9%
五井地区	6,800名	1,506名	22.1%
市原地区	7,830名	2,083名	26.6%
辰巳台地区	1,521名	522名	34.3%
市津地区	2,599名	387名	14.9%
三和地区	2,519名	901名	35.8%
南総地区	4,287名	1,045名	24.4%
加茂地区	1,472名	297名	20.2%
有秋地区	1,677名	326名	19.4%
ちはら台地区	1,051名	321名	30.5%
国分寺台地区	2,453名	597名	24.3%
合計	35,756名	8,796名	24.6%

【年度別実績】

年度	会場数	対象者数	参加者数	出席率
H29	125会場	35,756名	8,796名	24.6%
H28	117会場	33,935名	8,394名	24.7%
H27	115会場	32,210名	8,244名	25.6%
H26	115会場	30,616名	8,238名	26.9%

(7) 災害支援ボランティア事業の推進

災害にも強い地域づくりに向けて、地域特性に応じた防災・減災活動（の学習）に取り組んだ。

地区	開催日	参加者数	支援者数	内 容
国分寺台	9月4日	140名	16名	公益社団法人から講師を招き、中学生を対象に避難所運営ゲーム、簡易トイレの作成などを実施した。
有 秋	11月11日	46名	10名	NPO法人から講師を招き、町会や小域福祉ネットワーク関係者等を対象に避難所運営訓練を実施した。
三 和	10月21日	39名	8名	地区社協理事や一般参加者を対象に、講演「大地震に備える」炊出し袋による炊飯、災害時の便利グッズ作成を実施した。
南 総	8月20日	62名	5名	身近なものでつくる防災グッズ制作、災害についてのパネル展示による啓発活動を実施した。

開催地区	開催日数	参加者数	支援者数
4地区	4日	287名	39名

【成果・課題】

成 果	災害に関する講義・体験を行うことにより、災害時における住民同士の「支え合い、助け合い」の必要性や重要性について意識付けを行うことができた。
課 題	災害時を想定し、平常時からいかに住民同士の「支え合い、助け合い」の活動につなぐことができるか、住民意識の向上を図っていく必要がある。

みんなの生活を支えるための体制づくり

1. 総合的な相談支援体制の充実

(1) いちはら総合相談・生活支援事業

誰もが住み慣れた地域で、自立して暮らせるまちづくりを目指して、住民が抱える生活課題の解決に向けて、包括的かつ重層的な相談支援を行い、課題の解決に向けた個別支援や関係機関との連絡調整を行った。

年度	生計	職業 生業	教育 青少年	障がい者 福祉	冠婚 葬祭	療養 健康	生活	その他	合計
29年度	407件	10件	117件	13件	6件	31件	120件	59件	763件
28年度	439件	25件	44件	18件	6件	14件	82件	61件	689件
年比	△ 32件	△ 15件	73件	△ 5件	0件	17件	38件	△ 2件	74件

※各種貸付事業、ファミリー・サポート・センター事業、出産前後家事等サポート事業における相談も含む。

(2) 各地区における相談事業

地域住民が気軽にできる窓口であり、市社協や関係機関などへのつなぎ役・橋渡し役を担う相談支援事業を行った。

地区	開催日数	延相談人数	延支援者数	内容等
辰巳台	11日	2名	22名	日常生活上の悩みや困りごとに対し、地区住民が身近に相談できる場所を提供することを目的し、辰巳公民館会議室にて毎月第1日曜日13時～16時に開催。
市津	48日	2名	96名	毎週水曜日午前中、拠点を活用した相談支援活動を実施。
国分寺台	198日	198名	661名	地区内の様々な問題をサロン開設時や電話、事務所への来所で受付、課題の発見とその解決に向けた事業展開を実施。
ちはら台	227日	33名	227名	地区社協事務所にて相談ブースを設け、週5回、10時～12時に日常生活上の困りごと、助け合い利用相談などを窓口、電話対応等で実施。
姉崎	12日	1名	24名	毎月第1水曜日13時～16時に地区社協理事がアネッサ相談室にて実施。
有秋	41日	2名	82名	地域住民の悩み事や困りごとに対し、毎週月曜日10時～12時に公民館にて民生児童委員、地区社協関係者が対応。
三和	44日	11名	707名	会食会や茶話会、子育てサロン開催時に気軽に相談できる場として実施。
南総	25日	2名	68名	ふれあいいきいきサロン開設時、南部保健福祉センターにおいては毎週土曜日13時～15時に相談窓口（第3土曜日は障がい者専用窓口）を併設。
五井	19日	3名	52名	ふれあいいきいきサロン開設時に、五井公民館の一部屋において誰でも気軽に相談に来られる場として開設。

開催地区	開催日数	延相談者数	延支援者数
9地区	625日	254名	1,939名

【成果・課題】

成果	住民に身近で分野横断的な相談窓口として、本会エリア推進センター、各種事業や機関と連携し相談者の課題解決に向けた体制づくりに努めた。また、地域の相談窓口では、相談者への安心感の提供に寄与するとともに、困難ケースなどにおける関係機関への「つなぎ・橋渡し役」に努めることができた。
課題	住民が抱える生活課題の解決に向け、4層圏域（小域福祉圏、中域福祉圏、エリア推進センター圏、基本福祉圏）及び各専門機関の役割や機能を活用した包括的・重層的な相談支援体制の確立に努めることとする。

2. 地域生活を支援する事業の充実

(1) 日常生活支援事業の推進

公的制度や民間サービスで補えない住民の日常生活上の生活課題を解決するために、住民相互による支え合い・助け合いの活動を行った。

① 住民参加型在宅福祉サービス

日常生活上の課題解決のために取り組む住民参加型在宅福祉サービス等の個別支援活動

地 区	開設日数	延利用者数	延支援者数	内 容 等
辰巳台	305 日	1,608 名	902 名	辰巳台地区内に居住する高齢者や障がい者、その他日常生活に手助けを必要とする人たちに対して、日常支援、子育て支援等の有償サービスを提供。
ちはら台	227 日	199 名	199 名	ちはら台地区内に居住する日常生活に手助けを必要とする人たちに対して、家事支援、付添支援等の有償サービスを提供。
三 和	121 日	145 名	275 名	三和地区内に居住する一人暮らし高齢者や高齢者世帯、障がい者世帯をに対して、家事作業、屋外作業等の有償サービスを提供。

開催地区	開催日数	延利用者数	延支援者数
3 地区	653 日	1,952 名	1,376 名

② 事業化・活性化推進サービス

住民参加型在宅福祉サービスにつなげるための取り組みとして部分的に支援する活動。

地 区	開催日数	延利用者数	延支援者数	内 容 等
辰巳台	27 日	391 名	27 名	高齢者を主な対象として、社会福祉施設の協力を得て月 2 回買い物ツアーを実施。
市 津	24 日	470 名	107 名	65 歳以上の一人暮らし高齢者、65 歳以上で構成される世帯、自力での買い物に困難を抱える方を対象として、社会福祉施設の協力を得て月 2 回買い物ツアーを実施。
有 秋	12 日	183 名	20 名	65 歳以上の一人暮らし高齢者、障がい者で自力での買い物に困難を抱える方を対象として、社会福祉施設の協力を得て月 1 回買い物ツアーを実施。

開催地区	開催日数	延利用者数	延支援者数
3 地区	63 日	1,044 名	154 名

【成果・課題】

成 果	事業化・活性化サービスについては、社会福祉施設の協力を得た買い物ツアーが 3 地区で実施された。また、1 地区では来年度から住民参加型在宅福祉サービスの実施に向けた具体的な検討、議論が行われた。 住民参加型在宅福祉サービスでは、利用者が増えた。事業サービスの拡充が図れた。
課 題	地域によって特性や課題が異なることから、現行サービスに限らず地域の実情に応じた個別支援・生活支援サービスを開発していく必要がある。

(2) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

高齢者や障がい者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助を行うことにより、地域での自立した生活を送ることを支援するために、福祉サービス利用援助事業を実施した。

① 相談件数等

月	新規相談件数						新規訪問調査		利用状況	
	高齢者	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計	実人数	延べ回数	利用者数	利用回数
4	2件	0件	0件	2件	0件	4件	1名	2回	44名	65回
5	5件	0件	0件	1件	0件	5件	4名	4回	45名	61回
6	5件	0件	0件	1件	1件	7件	3名	3回	43名	54回
7	6件	0件	0件	0件	1件	6件	4名	4回	43名	54回
8	4件	2件	0件	1件	1件	7件	3名	5回	45名	66回
9	0件	0件	0件	1件	1件	2件	2名	2回	45名	63回
10	1件	0件	0件	0件	0件	1件	2名	2回	45名	66回
11	3件	1件	0件	0件	0件	4件	3名	4回	46名	57回
12	5件	0件	0件	0件	1件	6件	4名	6回	48名	61回
1	5件	0件	0件	0件	1件	6件	2名	3回	43名	54回
2	3件	0件	0件	1件	1件	4件	3名	4回	44名	57回
3	3件	1件	0件	0件	1件	5件	2名	2回	45名	63回
29年度	42件	4件	1件	6件	5件	57件	33名	41回	536名	721回
28年度	52件	2件	1件	3件	6件	63件	42名	51回	541名	692回
増減	△10件	2件	1件	3件	△1件	△6件	△9名	△10回	△5名	29回

② 契約者地区・区分別

地区 区分	地区											合計
	姉崎	五井	市原	辰巳台	市津	三和	南総	加茂	有秋	ちはら台	国分台	
高齢者	7件	7件	6件	4件	0件	2件	3件	0件	1件	0件	2件	32件
身体障がい者	3件	1件	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	5件
知的障がい者	0件	2件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	4件
精神障がい者	0件	0件	4件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	4件
その他	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
合計	10件	10件	12件	4件	0件	2件	4件	0件	1件	0件	2件	45件
生活支援員対応	0件	6件	7件	1件	0件	1件	2件	0件	1件	0件	0件	18件
専門員対応	10件	4件	5件	3件	0件	1件	2件	0件	0件	0件	2件	27件

【成果・課題】

成果	生活支援員1名を雇用し、専門員と生活支援員業務分担を図り、速やかな対応が図れるよう支援体制を整えた。
課題	生活支援員の雇用を図り、新規相談について専門員が迅速に対応できる体制が整った。しかし、複雑化する新規相談者との契約が円滑に進むには多くの時間を要し、相談待機者の解消とはならなかった。また成年後見制度利用への移行が必要である利用者が増え、本事業のみならず、新たに成年後見制度利用に向けた支援体制の強化が必要。

(3) ホームケアサービス事業

在宅高齢者や心身障がい者、母子・父子家庭等で公的な福祉サービスで対応できない家事援助等の支援を必要としている方を対象に、住民参加型による有償の援助サービスを提供し、住民相互の支え合い・助け合い活動の増進を図った。

・利用会員登録者 83名（平成30年3月31日現在）

・協力会員登録者 45名（ ” ” ）

・活動状況

月	利用者数			活動協力会員数			活動日数			活動時間数		
	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減	29年度	28年度	増減
4	1名	1名	0名	1名	1名	0名	1日	1日	0日	2時間	2時間	時間
5	1名	0名	1名	1名	0名	1名	1日	0日	1日	2時間	時間	2時間
6	1名	2名	△1名	1名	2名	△1名	1日	2日	△1日	2時間	4時間	△2時間
7	1名	1名	0名	1名	1名	0名	1日	1日	0日	2時間	2時間	時間
8	1名	1名	0名	1名	1名	0名	1日	1日	0日	2時間	2時間	時間
9	1名	1名	0名	1名	1名	0名	1日	1日	0日	2時間	2時間	時間
10	1名	0名	1名	1名	0名	1名	1日	0日	1日	2時間	時間	2時間
11	1名	0名	1名	1名	0名	1名	1日	0日	1日	2時間	時間	2時間
12	1名	0名	1名	1名	0名	1名	1日	0日	1日	2時間	時間	2時間
1	1名	0名	1名	1名	0名	1名	1日	0日	1日	2時間	時間	2時間
2	1名	0名	1名	1名	0名	1名	1日	0日	1日	2時間	時間	2時間
3	1名	1名	0名	1名	1名	0名	1日	1日	0日	2時間	2時間	時間
計	12名	7名	5名	12名	7名	5名	12日	7日	5日	24時間	14時間	10時間
月平均	1名	1名	0名	1名	1名	0名	1日	1日	0日	2時間	1時間	1時間

【成果・課題】

成果	住民相互による支え合い助け合い活動の促進、介護保険制度における居宅介護支援事業所などとの連携・協働体制づくりの契機となった。
課題	福祉諸制度の改正に伴う地域共生社会づくりなどを踏まえ、本会が推進する住民相互の支え合い・助け合い活動の更なる活性化に向け、本事業の推進体制の見直しを図ることとする。

(4) 寝具乾燥・消毒及びクリーニングサービス事業

おおむね65歳以上の寝たきり高齢者、一人暮らし高齢者、高齢者世帯及び重度心身障がい者を対象に、保健衛生の向上と福祉の増進を図ることを目的として、日常使用している寝具の乾燥・消毒（年1回のクリーニングを9月に実施）を毎月1回実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	H28度	増減
利用者	1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	1	15名	15名	0名

【成果・課題】

成果	住み慣れた地域での在宅生活を維持するため、支援を必要とする方を対象に定期的な寝具の乾燥・消毒を実施することで衛生環境の向上を図った。
課題	民間事業者による市場サービスの充実や介護保険など公的諸制度の改正を踏まえ、事業の必要性、役割等の検証を図ることとする。

3. 子育て・高齢者・障がい者・生活困窮者支援活動の充実

(1) いちはらファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

公的な子育てサービスで対応できない短時間の預かりなど、住民相互（協力会員、利用会員）による援助活動を通じた子育て環境（仕事と育児の両立）を支援するため、いはらファミリー・サポート・センターを設置し、事業を実施した。（平成18年11月から事業開始）

相談件数（延数）	利用会員登録者数	協力会員登録者数	両方会員登録者数
44件	420名	105名	22名
前年比4件増	前年比33名増	前年比6名増	前年比1名増

（平成30年3月31日現在）

活動内容	月												H29度	H28度	増減
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
保育所・幼稚園の登園前の預かり	0	0	0	0	1	0	0	0	3	4	1	2	11件	0件	11件
保育所・幼稚園の送り	0	0	0	0	3	5	0	0	0	0	0	2	10件	15件	△5件
保育所・幼稚園の迎え	14	9	11	19	22	14	16	12	8	7	8	7	147件	264件	△117件
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	7	5	9	12	13	7	4	8	5	7	8	4	89件	152件	△63件
学童の放課後の預かり	5	1	0	3	0	1	2	2	1	2	2	0	19件	38件	△19件
放課後児童クラブの迎え	11	12	11	18	6	5	11	6	5	3	6	12	106件	108件	△2件
放課後児童クラブ終了後の預かり	9	10	10	14	10	6	12	6	5	3	6	14	105件	83件	22件
子供の病気等の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	0件	0件
子供の習い事等の場合の援助	17	21	26	23	13	21	28	23	17	17	22	21	249件	287件	△38件
保育所・学校等休み時の援助	4	1	4	6	2	5	4	2	8	9	3	8	56件	48件	8件
保育所等入所前の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	2件	△2件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1件	6件	△5件
保護者等の求職活動中の援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	2件	△2件
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1件	3件	△2件
保護者等の外出の場合の援助	0	3	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	6件	41件	△35件
保護者等の病気、その他休の場合の援助	1	3	0	0	1	0	1	0	0	0	5	2	13件	18件	△5件
その他	2	0	0	0	0	0	8	4	0	3	0	0	17件	29件	△12件
小学校登校前の預かり	16	19	21	14	0	19	20	18	15	15	19	15	191件	188件	3件
合計	87	84	92	109	72	85	106	81	68	70	80	87	1,021件	1,284件	△263件

【成果・課題】

成果	従来の住民相互（協力会員、利用会員）による援助活動の他、本市が締結した帝京平成大学や近隣市（千葉市、四街道市）との連携事業も活用することで、会員増加や住民同士による地域福祉活動（支え合い・助け合い）の更なる推進に繋がった。
課題	本事業の活動体制の充実を目指し、積極的な広報活動や市民大学などの講座を通じた協力会員の増強に努めこととする。

(2) 出産前後家事サポート事業（市受託事業）

妊娠中や出産前後の不安定な時期に、家事または育児支援などを必要とする家庭に、ホームヘルパーを派遣し、子育てしやすい環境づくりに向けたコーディネート業務を展開した。（平成29年1月から事業開始）

相談件数（延数）	利用者数（実人数）	利用回数（延数）	利用時間（延時間）
43 件	49 名	143 回	280 時間
前年比 41 件増	前年比 48 名増	前年比 138 回増	前年比 270 時間増

【活動状況】

（平成30年3月31日現在）

活動内容		月												合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
家事 援助	食事の準備・後片付け	7	7	7	7	4	0	6	5	11	17	22	28	121 件
	衣類の洗濯・補修	10	6	5	5	2	5	1	3	7	15	18	24	101 件
	居室等の掃除・整理整頓	10	6	5	4	3	5	3	5	11	16	15	25	108 件
	生活必需品の買い物	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2 件
	関係機関との連絡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件
	その他必要な家事援助	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	3	3	10 件
	小 計	27	19	17	16	9	10	10	14	30	52	58	80	342 件
育児 援助	授乳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4 件	
	おむつ交換	0	2	0	0	0	0	2	0	3	4	0	11 件	
	沐浴介助	0	0	0	2	0	5	0	0	0	1	0	11 件	
	適切な育児環境の整備	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 件	
	その他必要な育児援助等	0	3	1	0	0	0	3	0	7	7	2	5	28 件
	小 計	0	6	1	2	0	5	5	0	10	12	3	11	55 件
合 計		27	25	18	18	9	15	15	14	40	64	61	91	397 件

【成果・課題】

成 果	通常の家事・育児支援に加え、育児に不安を抱える母親への相談援助を通じた関係機関（市ネウボラセンター等）との連携体制の構築が図れ、支援幅の拡充や利用件数の大幅な増加に繋がった。
課 題	市ネウボラセンターや保育所等を通じた事業周知、南部地域における早期の支援体制を確立するため、行政と協議しながらヘルパー事業所の開拓に努め、更なる事業の拡充を図ることとする。

(3) こどものあそびば整備事業

子どもを交通事故から守り、健全に育成することを目的として、設置した小規模なあそびばの管理に努めた。

・こどものあそびば一覧表

No.	設置場所	設置年月日	敷地面積	No.	設置場所	設置年月日	敷地面積
1	権現堂 24	S45. 3. 31	396 m ²	6	櫃狭 290	S55. 7. 8	200 m ²
2	吉沢 238-1	S50. 5. 28	1,092 m ²	7	田尾 1132-2	S57. 6. 15	1,000 m ²
3	浅井小向 112	S52. 9. 14	297 m ²	8	山小川 375	S58. 5. 18	1,000 m ²
4	平野 241	S54. 9. 18	500 m ²	9	馬立字五反新田 2008-5	S62. 3. 16	180 m ²
5	相川 93	S54. 9. 18	1,300 m ²	10	堀越 60	H 1. 5. 27	580 m ²

【成果・課題】

成果	現地調査を実施したところ、子どもが利用している様子が見受けられず、また、設置した遊具の老朽化や設置町会による遊具の撤去を確認するなど、現在の状況を把握することができた。
課題	設置町会における子どもの減少や外遊びの減少等に伴い利用者が減少し、今後も利用の見込みがないことと、遊具の老朽化等が進んでいることから、事業の必要性や安全面を勘定し、遊具の撤去や事業廃止について検討する必要がある。

(4) 生活支援体制整備事業（市受託事業）

高齢者を地域全体で支える「地域包括ケアシステム」の構築に向け、地域課題や支援ニーズに基づく多様な主体と連携・協働した「生活支援等サービス」の提供体制などを整備するため、調整役を担う「第1層生活支援コーディネーター（SC）」（市域）を配置し、地区社協圏域における「第2層協議体」の設置に向けた環境支援に努めた。

(実施状況)

業務項目	活動実績(内容、回数等)	
地域アセスメント		
関係機関・団体の会議参加	地区社協会議（役員会、行動計画策定委員会等） 小域福祉ネットワーク連絡会議 地域ケア会議（日常生活圏域） 民生委員児童委員協議会会議	11地区58回 5地区、市域1回 12圏域 市域3回
行政・関係機関(団体)との連絡調整	保健福祉課、高齢者支援課との調整会議（共生社会づくり、通いの場等） 地区社協、小域福祉ネットワーク、NPOとの意見交換（住民参加型在宅福祉サービス、買い物支援等） 千葉県たすけあい協議会、地域支援事業推進協議会（生活支援体制整備事業の推進等）	5回 5団体 2団体3回
担い手育成及びサービスの開発		
地域福祉活動実践者向け研修会 担い手育成に向けた調整	市原市地域福祉関係者合同研修会開催(2月22日) ボランティアアドバイザー連絡会議への参加 ふれあいサロン担い手交流会の開催(3月16日, 19日) (ボランティアセンター共催事業)	381名参加 1回 158名参加
既存資源の活用・新たなサービス開発に向けた調整	市社協ホームケアサービス(住民参加型在宅福祉有償サービス)の拡充に向けた企画調整会議	4回
市原市地域支え合い推進協議会		
市原市担当課との調整	生活支援体制整備事業調整会議の開催 (地域包括ケア推進室との定例会議)	10回
市原市地域支え合い推進協議会との調整	市原市地域支え合い推進協議会への参加(2月6日)	1回
第2層協議体及びSCの整備		
第2層協議体設置に向けた準備	地区社協連絡会への参加 地区社協説明会の開催	2回 11地区30回
第2層SC配置に向けた準備	職員連絡調整会議における連絡調整(毎月) 職員研修会の開催	8回 3回
SC業務の推進・充実		
先進事例の情報収集及び研修会等への参加	生活支援SCフォローアップ研修会 生活支援体制関連研修会 千葉県たすけあい協議会ブロック研修会 地域福祉関連研修会	3回 3回 1回 4回

【成果・課題】

成果	「第2層協議体」の設置及び推進に向け、地区社協や小域福祉ネットワーク連絡会議、地区行動計画策定委員会などを活用した地域アセスメントや概要説明を通じた周知徹底を図り、概ね理解を得ることができた。また、勉強会や地域福祉関係者合同研修会を開催し、関係機関、活動実践者など多様な主体との共通理解を深めることができた。本会地区担当職員（第2層SC）向けの職員研修を実施し、協議体及びSCの役割や推進方策などの共通理解に努めた。
----	--

課題	本会地区担当職員（第2層SC）と連携し地区社協圏域における段階的な環境整備に向けた支援を行なうため、外部研修や職員連絡調整会議を活用した職員のスキルアップを図ると共に関係機関、活動実践団体との連携体制の構築に努めたい。
----	---

(5) 居宅介護支援事業（介護保険事業）

介護保険で要介護と認定された高齢者等に対し、サービス提供事業者、介護保険施設、関係行政機関等と連携を図りながらケアプランを作成し、自立した生活を支援した。

・ケアプラン作成状況

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	月平均
H29 度利用者	91	94	95	95	97	103	107	104	105	100	99	98	1,188 名	99 名
H28 度利用者	81	83	84	81	82	85	90	97	97	101	95	97	1,073 名	89 名
増 減	10	11	11	14	15	18	17	7	8	△ 1	4	1	115 名	10 名

① 介護予防給付ケアマネジメント業務（受託事業）

市原市内の地域包括支援センターから委託を受け、介護保険で要支援と認定された高齢者等に対し、サービス提供事業者、介護保険施設、関係行政機関等と連携を図りながらケアプランを作成し、自立した生活を支援した。

・ケアプラン作成状況

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	月平均
H29 度利用者	22	25	26	22	18	18	18	16	15	19	20	16	235 名	20 名
H28 度利用者	22	25	26	24	25	24	26	28	25	25	25	24	299 名	25 名
増 減	0	0	0	△ 2	△ 7	△ 6	△ 8	△ 12	△ 10	△ 6	△ 5	△ 8	△64 名	△5 名

② 要介護認定調査業務（受託業務）

市原市及び他市町村からの委託を受け、介護保険要介護・要支援認定に係る調査業務を行った。

・認定調査状況

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延利用者数	月平均
H29 度利用者	2	2	3	3	3	3	3	3	4	5	3	3	37 名	3 名
H28 度利用者	4	2	3	3	3	4	4	4	5	4	4	5	45 名	4 名
増 減	△ 2	0	0	0	0	△ 1	△ 1	△ 1	△ 1	1	△ 1	△ 2	△8 名	△1 名

【成果・課題】

成 果	基本的なケアマネ業務を適正に行うことで、地域や関連機関の信頼を得て、利用件数を増やすことができた。また、社会資源の収集や幅広い知識を習得するため、事業内での勉強会も毎週行い、利用者への相談援助力の向上ができた。特定居宅支援事業所として資質の向上に努め、研修の参加や新人介護支援専門員の育成を行った。
課 題	平成30年度の制度改正で求められているターミナル期の医療連携をはじめ、医療と介護の協働、機能を強化できるように医療側と積極的に関わっていくことや、地域包括ケアシステムの一部を担えるよう地域へも積極的に関わるようにしたい。

(6) 送迎ボランティアサービス事業

既存の交通手段での移動が困難な高齢者及び障がい者（児）等に対し、住民参加の相互援助による外出支援を行ない、社会参加の促進と地域福祉の推進を図った。

①実施状況

- ・利用者 239世帯 261名（平成30年3月31現在登録者）
- ・協力ボランティア 45名（ ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H29度	H28度	増減	
延利用件数	54	53	54	52	59	58	57	45	51	49	42	56	630件	716件	△86件	
目的別利用件数	福祉施設利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0件	0件	0件	
	公共機関利用	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2件	1件	1件	
	行事への参加	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	7件	7件	0件	
	通院	54	52	53	52	58	56	54	44	50	49	41	54	617件	706件	△89件
	その他	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	4件	2件	2件

②送迎ボランティア研修会

送迎ボランティアサービス事業を行うにあたり、協力者の活動をよりスムーズに行えるよう資質向上を目指すことを目的として実施。

期 日	11月28日（火）
場 所	市原市社会福祉協議会 3階 会議室
参 加 者	送迎ボランティアサービス事業協力会員 21名
内 容	研修会の部：「安全運転について」講師：元千葉県安全運転協会 鈴木洋一氏 交流会の部：交流会及び情報交換

【成果・課題】

成 果	市民、行政等からの支援ニーズや期待が高く、公的・民間サービスの利用が困難な方に通院を中心とする移動支援を延630件行うことができた。
課 題	協力ボランティアの高齢化により安全面の徹底を図り、新たな担い手の確保に向け事業PRを行うとともに養成講座の実施を検討する。

(7) 福祉カー貸出受託事業（市受託事業）

心身障がい者（児）、高齢者等の社会参加の促進と福祉の向上を図るため、障がい者、高齢者等及びその家族並びに社会福祉施設等に対し、リフト付きワゴン車の貸出を実施した。

①利用件数

項 目	月	利用状況	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	H29度	H28度	増減
			心身障がい者（児）及びその家族	件数	1	5	3	3	4	3	3	2	2	3	3	4	36件
	日数	2	12	4	6	7	3	7	5	2	3	4	10	65日	149日	△84日	
高齢者及びその家族	件数	0	1	1	0	4	0	2	0	1	0	1	1	11件	11件	0件	
	日数	0	1	4	0	8	0	3	0	1	0	2	1	20日	31日	△11日	
社会福祉団体及び社会福祉施設	件数	1	1	3	2	1	1	1	2	1	0	0	1	14件	12件	2件	
	日数	4	4	9	8	2	4	1	6	1	0	0	1	40日	43日	△3日	
社会福祉ボランティア	件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1件	件	1件	
	日数	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4日	日	4日	
合計	件数	2	7	7	5	9	4	7	4	4	3	4	6	62件	70件	△8件	
	日数	6	17	17	14	17	7	15	11	4	3	6	12	129日	223日	△94日	

②利用内容

項目	内 容	利用 状況	旅行等	買物等	通院等	行事等	その他	合 計
心身障がい者（児）及びその家族		件数	6	1	26	3	0	36 件
		日数	20	4	31	10	0	65 日
高齢者及びその家族		件数	1	0	6	4	0	11 件
		日数	4	0	8	8	0	20 日
社会福祉団体及び社会福祉施設		件数	5	0	0	9	0	14 件
		日数	8	0	0	32	0	40 日
社会福祉ボランティア		件数	0	0	0	1	0	1 件
		日数	0	0	0	4	0	4 日
合計		件数	12	1	32	17	0	62 件
		日数	32	4	39	54	0	129 日

【成果・課題】

成 果	市担当課と連携しながら、市民への広報活動を行った。年間の利用者数は決して多くないものの、新規利用者は増加してきている。
課 題	引き続き、市担当課と連携した広報活動に努め、利用促進を図る。

4. 生活困窮者支援活動の充実

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、高齢者世帯に対し、民生委員・児童委員をはじめ各関係機関が助言指導を行うことにより、当該世帯の経済的自立と更正意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めることを目的として実施した。

年度	資金種類	相談件数	申請件数	貸 付	
				件 数	金 額
29 年度	総合支援資金	5 件	0 件	0 件	0 円
	福祉費	28 件	12 件	13 件	1,894,100 円
	緊急小口資金	178 件	153 件	153 件	7,942,000 円
	教育支援資金	37 件	32 件	31 件	31,669,800 円
	不動産担保型生活資金	2 件	0 件	0 件	0 円
	臨時特例つなぎ資金	1 件	0 件	0 件	0 円
	合計	251 件	197 件	197 件	41,505,900 円
28 年度	総合支援資金	16 件	7 件	7 件	1,126,139 円
	福祉費	36 件	14 件	13 件	9,825,600 円
	緊急小口資金	133 件	119 件	119 件	6,447,000 円
	教育支援資金	40 件	38 件	37 件	26,685,100 円
	不動産担保型生活資金	8 件	0 件	0 件	0 円
	臨時特例つなぎ資金	1 件	0 件	0 件	0 円
	合計	234 件	178 件	176 件	44,083,839 円
前年度比較増減		17 件	19 件	21 件	△2,577,939 円

(2) 療養資金貸付事業（市受託事業）

高額な療養費の支払いが困難な世帯に対し、療養費の支払いに必要な資金の貸付けを実施した。

【貸付状況】

年 度	相談件数	申 請		貸 付	
		件数	金 額	件数	金 額
29年度	8件	3件	508,000円	3件	508,000円
28年度	8件	8件	1,755,000円	8件	1,755,000円
前年度比較増減	0件	△5件	△1,247,000円	△5件	△1,247,000円

(3) 福祉資金貸付事業（自主事業）

公的な福祉制度等で対応することができない、低所得世帯を主な対象者として、資金の貸付と必要な援助指導を与え、生活の安定と自立更正在を図った。

年度	資金種類	相談件数	申請件数	貸 付	
				件 数	金 額
29年度	応急生活費	49件	24件	24件	684,000円
	医療費	0件	0件	0件	0円
	その他	0件	0件	0件	0円
	合計	49件	24件	24件	684,000円
28年度	応急生活費	63件	45件	45件	1,286,000円
	医療費	0件	0件	0件	0円
	その他	0件	0件	0件	0円
	合計	63件	45件	45件	1,286,000円
前年度比較増減		△14件	△21件	△21件	△602,000円

(4) 応急法外援護

低所得で、公的な福祉制度等で対応することができない方に対し、応急的な生活費として少額の資金を交付した。

平成29年度		平成28年度		前年度比較増減	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
231件	892,310円	225件	851,600円	6件	40,710円

【成果・課題】

成 果	応急的に生活費不足に陥った世帯に対し生活費を貸付した。早期の生活改善に向けた助言指導と関係機関と連携した適切な支援に繋げるように努めた。また、未償還の方に対する償還指導を実施し、生活状況の把握に努め、生活の安定と自立に向けた必要な支援に繋げることができた。
課 題	応急的に経済的な課題を抱える世帯に早期支援を繋げるため、関係機関への事業周知や支援に向けた連携体制の構築に努め、資金貸付を通じた本会の総合相談機能の充実強化を図ることとした。

みんなの顔がつながる仕組みづくり

1. 福祉圏域間の連携・協働体制の強化

(1) 小域福祉ネットワーク連絡会議の運営

小域福祉ネットワークの更なる推進を図るため、組織間の連携体制を構築するとともに、併せて市全域の地域福祉推進の在り方について検討・協議することを目的に次のとおり開催した。

項目	期日	議題
第1回いちほら小域福祉ネットワーク連絡会議	6/15	講演「地域みんなが集い、つながる居場所」 ～認知症カフェかさねの取組～ 第5次市原市地域福祉活動計画（たたき台）について 地域と連携した「福祉教育」の推進について 市原市地域福祉活動補助金について
第2回いちほら小域福祉ネットワーク連絡会議	12/19	新たな高齢者福祉事業「通いの場」について 小域福祉ネットワーク活動の成果や課題について 地区行動計画策定の取り組み状況について

【成果・課題】

成果	ネットワーク活動の成果や課題の共有を図るためにグループワークを行ったことにより、地域特性に応じた取り組みを理解し合い、地区を超えたネットワーク同士の横のつながりが図れた。
課題	小域福祉圏における横のつながりを一層深め、効果的な組織運営や活動展開に関するノウハウの共有を図っていく必要がある。

(2) 地区社協連絡会の運営

地区社協活動に関する情報交換、連絡調整及び調査研究等を行うことを目的として、次のとおり地区社協連絡会を開催した。

項目	期日	議題
第1回地区社協連絡会	5/16	役員等の選出について 地域と連携した福祉教育（ボランティア学習）の推進について
第2回地区社協連絡会	6/15	平成29年度敬老会事業について 第5次市原市地域福祉活動計画（たたき台）について
第3回地区社協連絡会	7/21	新たな敬老事業について 市原市地域支え合い推進協議会委員の選出について 地区行動計画の策定・推進について
第4回地区社協連絡会	12/18	新たな高齢者福祉事業「通いの場」について 地区行動計画策定の取り組み状況について 生活支援体制整備事業【第2層】について
第5回地区社協連絡会	2/19	生活支援等サービスの推進について 新たな高齢者支援事業「通いの場」について 新たな高齢者福祉事業「通いの場」実施に伴う「ふれあい・いきいきサロン」の基本的方向性（案）について 地区社会福祉協議会交付基準に基づく平成30年年度地区社協補助金積算額（案）及び地区社協への新たな支援策の検討（案）について 平成29年度敬老会事業の実施結果について

【成果・課題】

成果	中域福祉圏の推進役として、また、市社協と一体となって取組みを進めるため、地域福祉関係施策の動向や新たな取り組みの必要性や知識について、市社協と地区社協とで共通理解、共通認識を深めた。
課題	本市の中域福祉圏の推進役である地区社協の役割と期待は、益々大きくなっている。市社協と一体となり、本市の地域福祉を推進していくため、迅速な情報や先駆的事例の提供をしていくとともに、効果的な組織運営や活動展開に関するノウハウの共有を図っていく必要がある。

みんなで取り組むための基盤づくり

1. 地域福祉を支える多様な担い手の養成

(1) 人材育成事業の推進

地域特性に応じた地域福祉活動の充実を図るための、新たな担い手の発掘、確保に取り組んだ。

地 区	開催日数	参加者数	支援者数	内 容
辰巳台	5 日	335 名	64 名	地域福祉のための人材確保を目的とし地区内小中学校に福祉体験教室、キャラバン隊の公演を実施。
市 津	1 日	24 名	8 名	地域住民を対象に地区社協とボランティア活動について説明。
国分寺台	43 日	446 名	300 名	子どもの権利擁護、複雑な家庭事情を考慮した相談支援体制を構築するとともに、子育てサロン事業でのスキル向上と新たな子育てサポーターの養成を目的として「子育てサポーター養成講座」を実施。
ちはら台	3 日	250 名	125 名	福祉バザー、高齢者向けコンサートで住民ボランティアを募集し地区社協活動を体験してもらい協力者を募った。また、ちはら台医療と介護の集い開催時、地区社協活動の説明、周知を行い協力者を募った。
南 総	5 日	147 名	30 名	「見守り支援活動」（ふれあいいきいきサロン事業、安心生活見守り支援事業）の協力者間で認知症に対する共通理解を深めるとともに、協力者拡充に向けたスタッフを養成することを目的とし、認知症サポーター養成講座を実施。

開催地区	開催日数	参加者数	支援者数
5 地区	57 日	1,202 名	527 名

【成果・課題】

成 果	5 地区で1, 175 名の参加を得て実施し、地域福祉活動への理解や人材の掘り起こしに努めた。
課 題	役員の後継者不足、担い手不足が全地区共通の喫緊の課題である。地区社協と市社協が連携し、社協のスケールメリットを活かした新たな人材の確保策を開発・展開していく必要がある。

2. ボランティアセンター機能の強化

(1) ボランティア活動に関する相談・コーディネート

① ボランティア相談受付、コーディネート

ボランティア活動する（されている）方々、施設・団体などからの活動相談、活動紹介、派遣依頼などのコーディネートを行った。

相 談 内 容	H29 度	H28 度	増減
活動希望、活動中の問題に関すること	60 件	160 件	△100 件
派遣依頼に関すること	169 件	193 件	△24 件
その他	120 件	116 件	4 件
合 計	349 件	469 件	△120 件

②登録者（団体）の活動実績

ボランティアグループ			
	H29 度	H28 度	増減
活動回数	9,825 回	11,048 回	△1,223 回
延参加人数	62,897 名	64,448 名	△1,551 名

個人ボランティア			
	H29 度	H28 度	増減
延参加人数	4,870 名	5,316 名	△446 名

依頼に対する活動状況			
	H29 度	H28 度	増減
件 数	107 件	135 件	△28 件
延参加人数	759 名	1,053 名	△294 名

③ボランティアアドバイザーの設置

ア) 地域住民が気軽に地域福祉活動や地域活動へ参画するための機会の提供や既存活動の充実をを目的に、市内 2ヶ所にアドバイザーを配置し相談やコーディネート機能の強化を図った。

設 置 数	委嘱ボランティアアドバイザー 3名
活動日時	週2日程度 午前10時から午後4時まで
活動場所	市原市社会福祉協議会（ボランティアセンター内）、姉崎保健福祉センター
活動日数	38日
活動内容	ボランティア活動に関する相談、助言等

イ) ボランティアアドバイザー連絡会議

期 日	8月3日（木）
場 所	事務局3階会議室
参 加 者	委嘱ボランティアアドバイザー 3名
内 容	①ボランティアアドバイザー活動状況について ②今後のボランティアアドバイザー活動のあり方について

【成果・課題】

成 果	ボランティア相談件数やコーディネート件数は減少傾向にあるが、活動紹介や連絡調整等に努めるとともに、福祉施設やイベントなどへの派遣調整、地区社協や小域福祉ネットワーク等の地域福祉活動へ積極的に繋げることが出来た。
課 題	旧市民活動センターの移転に伴い利便性などから減少傾向にあるが、福祉関係法令等々の動向も勘案し、地域福祉活動の推進に繋げるための相談・コーディネート機能の強化を図ることとしたい。

(2) ボランティア活動に関する情報提供

社協だよりやボランティア情報ステーション（市原市社会福祉協議会、市原市姉崎保健福祉センター、市原市三和保健福祉センター、市原市南部保健福祉センターに設置）で市内・外のボランティア活動情報等について、市民へ情報提供を行った。

【成果・課題】

成 果	ボランティア情報ステーションに活動情報を提供出来た。また、新たにホームページをリニューアルし、最新情報を広く市民にPR出来た。
課 題	ボランティア活動を広く市民にPRするため、ホームページ、SNSなどを活用しより効率の良いPR方法や広報を検討する必要がある。

(3) ボランティア活動への支援

ボランティア活動の継続性の向上や活性化のため以下の活動支援を行った。

①ボランティア登録数

ボランティアグループ

年度	登録団体数	登録者数
H29 度	184 団体	4,628 名
H28 度	195 団体	5,000 名
増 減	△11 団体	△372 名

個人ボランティア

年度	登録者数
H29 度	166 名
H28 度	189 名
増 減	△23 名

②ボランティア連絡協議会の事務局

活動者間の繋がりや連携づくり機会を提供するため、市原市ボランティア連絡協議会の事務局を担い協議会活動の支援を行った。

事業名	期日	会場	主な内容
総会	5/13	市原市姉崎保健福祉センター	平成28年度事業報告について 平成28年度決算報告及び監査報告について 平成29年度事業計画(案)について 平成29年度予算(案)について
V連協会員交流会	5/24	農業センター	会員相互の交流
会員交流会反省会	6/6	竹・いろりの里	会員相互の親睦
夏休み体験教室	8/18	市原市姉崎保健福祉センター	“つくってあそぼう” レトロなおもちゃからサイエンスの世界へ！ ものづくりと昔遊びを親子で体験
君津市V連協との交流会	9/25	市原市社会福祉協議会	会員相互の交流
ボランティアまつり	10/7	市原市立辰巳台東小学校	ボランティアによる手作りのお祭り(活動発表、ボランティア相談、バザー、工作、出店)
講演会	10/12	市原市市民会館	講演：「災害時の危機管理」 講師：公益社団法人S L災害ボランティアネットワーク千葉ネット 代表 坂内美佐子氏
バス研修会	2/22	旭市防災資料館 ヤマサ醤油	V連メンバーの交流を図るとともに、バス内でお互いの活動の情報交換を実施
会報発行	年1回		「いちほらV連協だより」第24号(7月) 広報活動
V連協運営事業			市原市V連協の運営に関すること ・役員会 ・監査 ・交流会実行委員会 ・夏休み体験教室実行委員会 ・ボランティアまつり実行委員会 ・その他打合せ

【成果・課題】

成 果	新たにボランティアグループ6団体、個人ボランティア17名が新規登録され、若年層の登録も多数あったことから、次世代を担う人材の把握に繋がった。
課 題	活動者の高齢化が進み、活動停滞や存続の危機に直面する団体も見受けられる。活動相談機能の充実、次世代、元気な高齢者などが活躍できる場の確保や情報提供を積極的に行うこととしたい。

(4) ボランティアの普及・交流

ボランティアの普及や団体間の相互交流を活性化し、ボランティア活動の裾野の拡大と協働関係の強化を図るため以下の講座等を開催した。

①子育て支援者交流会

子育て支援に携わっている支援者同士の交流や情報交換の場を提供することで、顔の見える関係づくりを促進するとともに、今後の子育て支援活動の充実に繋げることを目的に実施した。

期 日	3月19日(月)
場 所	市原市市民会館 3階大会議室
参加者	71名
内 容	講 話「市原市の子ども・子育ての現状について」 市原市子ども未来部子ども福祉課企画調整係 係長 後藤仁史氏 情報交換「市原市の子育て支援について話し合おう」

②ふれあい・いきいきサロン交流会

ふれあい・いきいきサロン関係者同士の交流や情報交換の場を提供することで、顔の見える関係づくりを促進するとともに、今後の高齢者支援活動の充実に繋げることを目的に実施した。

期 日	3月16日(金)
場 所	市原市勤労会館(YOUホール) 3階多目的ホール
参加者	87名
内 容	活動発表「わがまちサロンの取り組みについて」 ・青葉台小学校区小域福祉ネットワーク ・光風台小学校区小域福祉ネットワーク ・市津地区社会福祉協議会 情報交換「お互いのサロン活動について語り合おう」

【成果・課題】

成 果	今年度初めて市内の活動者等を一堂に会し交流会を実施した。相互の交流や情報共有・交換等図ることが出来た。
課 題	活動者の担い手不足の問題が大きく取り上げられるため、センターと地区社協等が連携しながら活動者の育成に努めることとする。

(5) ボランティアの養成

地域が抱える課題について、様々な機会を捉えて情報の収集を行うとともに、社会や地域ニーズに応じた人材の育成を図るため以下の講座等を開催した。

①青少年ボランティア養成講座

青少年がボランティア活動について自ら考え、ともに知恵を出し合い、実践することで、青少年の自主性や主体性を育むとともに、地域活動やボランティア活動への参加意識の醸成を図ることを目的として実施した。

期 日	11月19日(日)、11月23日(木)
場 所	市原市社会福祉協議会
参加者	延58名

内 容	<p>【テーマ】「災害時におけるボランティア活動について考えよう！」</p> <p>1日目：講義「防災・減災について」・「災害時のボランティア活動について」 演習「災害時にボランティアとして何ができるか」 講師：防災ボランティア地区リーダー 藤田治氏</p> <p>演習「災害食体験」 講師：公益社団法人SL災害ボランティアネットワーク千葉ネット 代表 坂内美佐子氏 公益社団法人SL災害ボランティアネットワーク市原ネット 代表 沼野博氏</p> <p>説明「災害ボランティアセンターの役割について」 市原市社会福祉協議会職員</p> <p>2日目：災害ボランティアセンター立上げ運営訓練へ参加</p>
-----	--

②傾聴ボランティア養成講座

相手の心に寄り添って話を聴くことの大切さや、心と耳を傾けて話を聴くために必要な知識と技術を学び、それを活かして活動できる傾聴ボランティアの養成を図ることを目的として実施した。（主催：五井公民館、共催：傾聴の会ひだまり・傾聴の友やすらぎ・傾聴の会こだま・市原市社会福祉協議会）

期 日	9月3日（日）、10日（日）、17日（日） [全3回]
場 所	五井公民館
参加者	一般市民 延べ80名、関係者 52名
内 容	講義及び演習 講師：東京情報大学総合情報学科 教授 田邊 昭雄氏 その他、傾聴ボランティアグループへの加入促進

【成果・課題】

成 果	防災・減災、孤立防止などの地域課題に基づく講座開催により、地域活動やボランティア活動に関心を持つ方々の契機づくりに繋がった。
課 題	地域課題、ニーズに応じた講座の企画の充実を図り、活動団体等と連携し受講後の活動マッチングや場の確保、継続的な活動を促すためのフォロー体制の確立に努めることとする。

(6) 福祉教育（ボランティア学習）の推進

学校や団体等と連携し、次世代の福祉マインドの醸成や生涯学習のための福祉教育（ボランティア学習）の推進を図るため以下の講座を実施した。

①出前講座

市民に対する福祉教育（生涯学習）の一環として、市内の学校・各種団体・機関からの要請に応じて講座を開催した。※高齢者疑似体験セット装着指導含む

派遣先	学校関係	公共機関等	福祉施設、団体等	合計
回 数	19	1	6	26団体

【成果・課題】

成 果	市内の小、中学校での開催が多数を占め、前年比8件増加となった。受講後に地域貢献の一環として地域活動する学校等が見受けられ、徐々に講座の成果が表れている。
課 題	講座開催にあたり、既存グループによる協力の他、地域におけるサポーターの養成に努め、新たな人材育成（ボランティア育成）と絡めた講座の活性化を図ることとする。

(7) 災害ボランティア活動関連

災害時におけるボランティア活動が円滑に行われるよう、災害ボランティア活動の基盤整備・環境整備の促進を図った。

①市原市災害ボランティア活動連絡調整会議

市原市が大規模災害に見舞われたとき、関係機関及び団体が連携し、迅速かつ効果的な支援活動を行えるよう、平常時から災害対策について情報の共有や施策の連携を図ることを目的として、市原市災害ボランティア活動連絡調整会議を実施した。

期 日	1回目 9月13日(水) 3回目 11月8日(水)	2回目 10月17日(火) 4回目 12月7日(木)
場 所	市原市社会福祉協議会	
内 容	1回目 ①平成29年度青少年ボランティア養成講座(案)について ②平成29年度災害ボランティアセンター設置運営訓練(案)について ③構成機関・団体の活動近況報告について 2回目 ①平成29年度青少年ボランティア養成講座について ②平成29年度災害ボランティアセンター設置運営訓練について ③構成機関・団体の活動近況報告について 3回目 ①平成29年度青少年ボランティア養成講座について ②平成29年度災害ボランティアセンター設置運営訓練について ③構成機関・団体の活動近況報告について 4回目 ①平成29年度青少年ボランティア養成講座について ②平成29年度災害ボランティアセンター設置運営訓練について ③構成機関・団体の活動近況報告について	

②災害ボランティアセンター設置運営訓練

「初動体制マニュアル」及び「災害ボランティアセンター運営マニュアル【改訂版】」に基づき、市原市において大規模災害が発生した場合に迅速に対応するため、関係団体の協力を得て災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施した。

期 日	11月23日(祝)
場 所	市原市社会福祉協議会
参加者	103名【学生27名(引率1名)、関係者47名、職員28名】
内 容	「第2次配備からの災害ボランティアセンター設置運営訓練」及び「反省会」 協力団体：市原市ボランティア連絡協議会、公益社団法人SL災害ボランティアネットワーク千葉ネット、公益社団法人SL災害ボランティアネットワーク市原ネット、市原市災害ボランティアネットワーク、千葉県災害対策コーディネーター連絡会、NPO法人ゆかいな仲間たち、日本赤十字社千葉県支部、市原市役所危機管理課、市原市役所保健福祉課

③平成29年度市原市総合防災訓練への参加 (※市原市の主催事業)

市原市地域防災計画に基づき、発災時における本会、ボランティアセンターの役割などの再点検と、防災関係機関との連携体制の構築、より多くの市民への災害ボランティア活動の意識醸成を目的に参加した。

期 日	9月3日(日)
場 所	加茂学園
内 容	災害ボランティアセンター啓発チラシ配布、車椅子体験ブース設置

【成果・課題】

成 果	災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施や市総合防災訓練への継続的な参加を通じ、本会、ボランティアセンターの役割を再認識するとともに、各関係機関との連携強化、地域福祉活動実践者の意識醸成に繋がった。
課 題	災害時における本会、ボランティアセンターの役割、関係機関との連携体制の構築や取り組みなど訓練を通じ全職員が再認識し、併せてマニュアル等の見直しを図ることとする。

3. 地域福祉推進体制の強化

(1) 民生委員・児童委員との連携強化

市原市民生委員児童委員協議会の事務局として、その活動の推進を図った。

期 日		事 業 名	人数	場 所
月	日			
4	10	市民児協第1回正副会長・部会長会議	3名	市社協
	17	市民児協監査	5名	市社協
	20	新任民生委員児童委員研修会	13名	千葉県文化センター
	24	市民児協第1回理事会	14名	市民会館
		市民児協代議員会	44名	
5	12～18	「民生委員・児童委員の日」活動強化週間	全委員	市内各地
6	22	市民児協第2回正副会長・部会長会議	5名	市社協
		市民児協第1回主任児童委員部会	21名	市民会館
	27	市民児協第1回地域福祉推進部会	19名	市民会館
	30	市町村民児協事務担当者会議及び事務局運営講座	1名	県社会福祉センター
7	9～10	第86回全国民生委員児童委員大会	9名	東京ビッグサイト
	24	市民児協第3回正副会長・部会長会議	4名	市社協
	27	六市民児協会長・副会長研修会	13名	内田未来楽校 なのはな館
8	21	市民児協第4回正副会長・部会長会議	5名	市社協
	25	市民児協全体研修会	288名	市民会館
	31	新任民生委員児童委員研修会	9名	千葉県文化センター
9	12～13	中堅民生委員児童委員研修会	84名	千葉県文化センター
	14～15	全国主任児童委員研修会(東日本)	2名	東京ベイ幕張
11	2	中堅民生委員児童委員講座	16名	君津市生涯学習 交流センター
	14	第67回千葉県社会福祉大会	26名	千葉県文化会館
	20	単位民児協会長研修会	10名	京葉銀行文化プラザ
	28	中堅民生委員児童委員講座	5名	大網白里市 保健文化センター
12	8	市民児協第5回正副会長・部会長会議	5名	市社協
		新任民生委員児童委員研修会	5名	千葉県文化センター
	11	市民児協第2回地域福祉推進部会	14名	市社協
	22	市民児協第2回理事会	11名	市社協
		市民児協理事研修会	11名	市社協
1	24	主任児童委員研修会	14名	京葉銀行文化プラザ
	26	市民児協第2回主任児童委員部会	18名	千葉県若葉保健福祉センター
3	15	市民児協第3回主任児童委員部会	20名	市社協
	22	市民児協第3回地域福祉推進部会	18名	市社協
		相談技法研修会	10名	千葉市内
4月1日～ 3月31日		慶弔事業	7名	

【成果・課題】

成 果	市民児協の事務局として、各種会議、部会、研修会等の運営支援に取り組み、民生委員活動の資質向上及び活性化を図った。また、毎月開催される地区民児協定例会に地区担当職員が参加するなど、日常的な連携があり、民生委員との信頼関係が一層密になった。
課 題	民生委員は、地域住民の身近な相談支援者であるとともに、地域福祉活動の推進役の一翼を担っていることから、今後も市社協との連携強化、充実を図っていく必要がある。

(2) 共催・後援等事業

社会福祉施設・団体との連携強化をはかり協働活動を促進するため、次のとおり共催、後援及び協賛を行った。

事業名	期日	会場	実施主体及び内容
ちはら台保育園バス遠足	5月12日	草ぶえの丘	<u>ちはら台保育園</u> 園児、保護者、職員の親睦を深めることを目的に実施した。
第29回キッズフェスタ in 市原	4月29日	卯の起公園	<u>市原市ちびっ子ファミリーフェスティバル実行委員会</u> 育成団体7団体で実行委員会を組織し、子ども達に会場で楽しく過ごしてもらうために実施。
一般公開ケース研究会	7月8日	市津公民館他	<u>市原地区保護司会</u> 社会を明るくする運動の一環として、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ等をテーマに、犯罪や非行防止を目的に実施した。
平成29年度第51回 青少年のつどい市原市大会	8月20日	ゼットエー 武道場他	<u>市原市青少年相談員連絡協議会</u> 次代を担う青少年が、スポーツを通じて相互の親睦と友情を深め、青少年としての自覚と誇りを高めると共に、健康な体力づくりを目指し、青少年の健全育成を目的に実施した。
平成29年度市原市 老人クラブ会員作品展	11月2日 ～ 11月5日	市原市 国分寺公民館	<u>市原市老人クラブ連合会</u> 老人クラブ会員の作品を公開展示し、地域住民に老人のもつ経験と技術の周知を図り、また、趣味の活動を通じて親睦を深め高齢者の生活をより豊かなものにすることを目的に実施した。
第19回 特連文化フェスティバル・ 市原市特別支援教育振興大会	12月7日	市原市 市民会館	<u>市原市特別支援教育研究連盟</u> 市原市内小中学校特別支援学級及び市原特別支援学校に在籍する児童生徒が、日頃行っている学習や文化的活動を発表し、各学校間、地域間の交流を目的に実施した。
はくちょう保育園お遊戯会	1月20日	はくちょう保育園	<u>はくちょう保育園</u> 園児、保護者、職員の親睦を深めることを目的に実施した。
市原刑務所慰問	毎月	市原刑務所 市原学園	<u>市原地区更生保護女性会</u> 団体の目的遂行の具体的活動として市原刑務所へ毎月の誕生会の慰問を実施した。
重度障がい者も参加できる 「バリアフリースポーツ」 教室	毎月	サンハート他	<u>市原市中心身障害者福祉団体連絡協議会</u> 地域の障がい者・高齢者・子どもたちが共にスポーツを楽しみ、明るい仲間作りをし、地域と交流を持つことを目的に実施した。

指定管理施設の運営

1. 指定管理施設管理経営事業

指定管理者として、老人福祉センター、保健福祉センター（3館）をそれぞれ運営した。

施設名	指定管理期間
老人福祉センター	平成26年4月1日～平成31年3月31日
三和保健福祉センター	
南部保健福祉センター	平成27年4月1日～平成32年3月31日
姉崎保健福祉センター	平成28年4月1日～平成33年3月31日

(1) 老人福祉センター管理経営事業

高齢者に対し、各種の相談に応じるとともに健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的として、保健師による健康相談や血圧測定、市原警察署による交通安全指導の実施、その他教養講座を次のとおり開催した。

事業名	期日	
健康相談・血圧測定(保健師：串田保健師)	毎月1回	
各種講座	大正琴	第2・第4水曜日
	書道	第1・第3金曜日
	生け花	第2・第4木曜日
	アートフラワー	第1木曜日
	絵てがみ	第1月曜日
	囲碁会	毎週火曜日
	ゲートボール	毎日(1団体)

① 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
老人クラブ	団体数	13	14	12	14	10	13	12	12	11	12	13	13	149 団体
	人数	283	246	200	240	143	354	176	199	174	212	255	196	2,678 名
一般団体	団体数	17	15	14	16	12	13	19	11	13	12	12	15	169 団体
	人数	217	206	205	218	198	192	254	183	201	178	170	188	2,410 名
団体合計	団体数	30	29	26	30	22	26	31	23	24	24	25	28	318 団体
	人数	500	452	405	458	341	546	430	382	375	390	425	384	5,088 名
個人人数	1,958	1,951	2,229	1,907	2,078	2,005	1,847	1,931	1,951	1,650	1,671	1,924	23,102 名	
総合計	2,458	2,403	2,634	2,365	2,419	2,551	2,277	2,313	2,326	2,040	2,096	2,308	28,190 名	

② 利用状況前年度比較

区分	団体数		前年度比較増減	人数		前年度比較増減
	29年度	28年度		29年度	28年度	
老人クラブ	149 団体	148 団体	1 団体	2,678 名	2,668 名	10 名
一般団体	169 団体	176 団体	△ 7 団体	2,410 名	2,571 名	△ 161 名
個人				23,102 名	26,771 名	△ 3,669 名
合計	318 団体	324 団体	△ 6 団体	28,190 名	32,010 名	△ 3,820 名

【成果・課題】

成 果	高齢者が豊かな老後生活を過ごせるよう、教養の向上や健康増進を目標に向けた施策を展開している。29年度より、明るい環境づくりのため、あいさつ運動やラジオ体操、踊り等を定時に実施し、利用者の皆様より好評を頂いている。
課 題	有料化に伴い、利用者が減少したが、そのほとんどが個人利用の方であるため、個人の方の利用促進が大きな課題である。

(2) 姉崎保健福祉センター管理経営事業

① 地域福祉センター

地域住民及びボランティア等の民間福祉団体の福祉活動の拠点として、各種福祉情報の提供を総合的に行い、もって地域住民の福祉の高揚を図った。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
体育室	2,902	2,547	2,726	3,030	2,588	3,819	3,934	3,303	2,576	1,972	1,939	2,514	33,850	34,383	△ 533
ボランティアルーム	573	415	653	532	486	730	740	456	411	438	486	508	6,428	6,656	△ 228
実習室	338	300	437	359	273	380	536	280	321	333	337	394	4,288	4,069	219
調理実習室	51	91	110	50	52	38	36	66	103	89	49	43	778	887	△ 109
研修室	885	1,254	944	1,405	1,110	1,121	1,625	1,387	1,014	992	761	2,214	14,712	14,674	38
多目的ホール	821	1,079	800	972	611	861	1,061	1,078	626	597	595	691	9,792	9,514	278
ゲートボール場	5	64	97	8	91	10	6	38	12	8	6	17	362	235	127
相談室	87	55	49	37	58	69	119	74	30	78	47	102	805	1,022	△ 217
合計	5,662	5,805	5,816	6,393	5,269	7,028	8,057	6,682	5,093	4,507	4,220	6,483	71,015	71,440	△ 425

イ) 年間事業実施状況

事業名	期 日	内 容	参加者
ニコニコキッズ	5月15日 7月24日 9月11日 11月13日 12月11日 1月15日 3月19日	ボランティアによる手作り遊具を活用し、開放された遊びの場を提供することで、地域の親子が交流を図り情報交換を行う等の子育ての支援を行うことを目的として実施した。	646名
世代間交流事業 卓球教室	7月29日 7月30日	高齢者の卓球グループの方々を講師として卓球教室を開催することで、世代間の交流を図ることを目的として実施した。(児童館と共催)	100名
バリアフリー スポーツ教室	6月25日 7月23日 8月27日	障がい児(者)を中心としたバリアフリースポーツを地域の高齢者、児童、ボランティアと一緒に体験することで、障がい者への理解を深め交流の機会を作るために実施した。	142名
昔あそび	6月 3日 7月27日 8月19日 2月 4日	昔から伝承されている子どもの遊びを教わるとともに一緒に楽しみながら世代間の交流を図ることを目的として実施した。(児童館と共催) 『シルバー友の会』	246名

アネッサ発 クリーン大作戦	11月11日	施設利用者と地域住民とで地域の清掃活動を行い、地域に貢献するとともに、世代間・サークル間の交流を図り相互理解を深めることを目的として実施した。 (児童館と共催)	183名
初めての手話入門	5月～7月 (全10回)	市民に対し、障がいに対する理解とボランティア意識の向上を図るため、初心者の手話入門講座を実施した。	125名
チャレンジ 夏休みの課題	8月8日 8月9日 8月10日	近隣小学校児童の夏休み期間中の学習をサポートすることを通じて世代間交流を図り、相互理解を深めることを目的として実施した。(児童館及び青少年会館と共催)	87名
グランドゴルフ大会	9月10日	体育振興会の呼び掛けにより、世代間の交流を図ることを目的として実施した。(体育振興会と共催)	60名
普通救命講習	6月27日	施設利用の方々に、万が一における事故に対応できる知識及び技術を身につけてもらうため実施した。	9名
施設内美化活動	4月15日 5月20日 6月24日 9月14日 11月11日	敷地内の除草を利用者に呼びかけ、ボランティア意識の向上と親睦を図ることを目的として実施した。(雨天のため1回順延)	73名
自主防災講習会	6月 (全4回)	防災について知識を高め、地域防災の在り方や取り組みについて学ぶことを目的として実施した。	265名
ポヨポヨ救急法	9月21日	乳幼児を持つ保護者が家庭内における突発の事故に対処するための基礎知識を習得することを目的として実施した。 『姉崎消防署』	125名
ボランティア 活動紹介	5月～6月	アネッサを利用するボランティアグループの活動紹介を掲示することで、市民のボランティア活動への関心を高めるとともに、活動の周知及び啓発を図ることを目的として実施した。	10グループ
サークル活動紹介	10月	日頃アネッサを利用しているサークルの活動紹介を掲示し、地域住民に広く周知することで、生きがい活動のきっかけづくりとすることを目的として実施した。	31グループ
レコード交流会	4月～3月 (全12回)	レコード鑑賞(茶話会)を通じて地域住民の居場所づくりを行い、交流する機会を提供することを目的として実施した。	324名

【成果・課題】

成 果	児童から高齢者、障がいのある方全般、昨年度同様またそれ以上の多くの参加者があった。また、アネッサ利用者や地域住民による地域の美化活動(クリーン大作戦)を実施した。ボランティア活動であるため、有料化に伴う参加者の減少が懸念されたが、実際は例年以上の参加者があり好評であった。
課 題	各事業の協力者であるボランティアの高齢化により、事業継続が困難になる恐れがあるため、今後の事業展開の見直しが必要である。貸室状況だが、平成29年10月からの有料化により、使用料の高い部屋の利用者数が減少してしまった。貸室の有効活用を検討していく必要がある。

② 老人福祉センター

地域の高齢者が集うことにより、社会的孤立感の解消、身体的及び精神的な負担の軽減を図るとともに、健康で豊かな心で生きがいのある生活ができるよう各種教室を開催した。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減	
大広間	団体	52	81	80	50	98	135	32	16	32	10	0	32	618	799	△ 181
	個人	1,074	1,052	1,107	1,068	1,114	1,174	1,023	1,079	890	1,000	956	1,049	12,586	13,220	△ 634
和室	228	230	232	249	164	237	190	105	129	133	99	199	2,195	2,397	△ 202	
男性浴室	1,111	1,051	1,098	1,110	1,056	1,025	836	951	824	804	771	912	11,549	13,384	△ 1,835	
女性浴室	662	610	643	646	566	593	412	503	426	434	422	475	6,392	7,423	△ 1,031	
合計	3,127	3,024	3,160	3,123	2,998	3,164	2,493	2,654	2,301	2,381	2,248	2,667	33,340	37,223	△ 3,883	

イ) 年間事業実施状況

事業名	期日	内容	参加者
ヨガ教室	5月～6月 (全10回)	高齢者の体力の維持増進を目的としたヨガ。 講師：鈴木 なぎさ 氏	128名
手芸教室	5月 (全2回)	ちりめんで作るうさぎの置物。 講師：廣部 由美子 氏	17名
一文字書を楽しむ 書道教室	8月～9月 (全4回)	色紙に好きな一字を書く。 講師：大野 蘭秀 氏	54名
健康吹矢教室	1月～2月 (全4回)	高齢者の体力の維持増進を目的とした健康吹矢。 講師：田中 博之 氏	47名
ほのぼのダンス・ ストレッチ教室	9月～12月 (全10回)	高齢者の体力の維持増進を目的としたストレッチ体操等。 講師：垂 三枝子 氏	479名
絵手紙教室	11月～2月 (全10回)	絵手紙の基本について学んだ。 講師：東 洋子 氏	125名
そば打ち教室	12月 (全1回)	市原産のそば粉を利用したそば打ち。 講師：斉藤 忠夫 氏	8名
60歳からの健康 体操教室	9月～10月 (全4回)	高齢者の体力の維持増進を目的とした健康体操。 講師：有山 貴子 氏	111名
折り紙教室	4月 (全2回)	広告紙を使用して小箱作り。 講師：福田 進一 氏	13名
フラダンス教室	6月～7月 (全4回)	60歳からの初心者向けフラダンス教室。 講師：荒井 ローズメリー 氏	25名
メンズキッチン	6月～7月 (全2回)	男性を対象とした料理教室。 講師：市原市食生活改善協議会姉崎支部	25名
中国水墨画教室	10月 (全4回)	初心者向けの中国水墨画教室。 講師：陳 珂 氏	55名
ラベンダーポプリとバン ドル作り教室	6月 (全2回)	旬のラベンダーを使ってポプリとバンドルを製作 講師：西村 美和子 氏	14名

【成果・課題】

成果	高齢者の健康に対する意識が高く、健康講座の参加が多かった。事業目的である高齢者の交流促進や健康寿命を延ばすためのきっかけ作りに寄与することができた。
課題	参加者が少ない事業がいくつかあり、内容や周知方法を検討する必要がある。貸室状況だが、平成29年10月からの有料化により男女ともに浴室利用者数の減少が顕著となった。また、浴室内の衛生管理の徹底に留意する必要がある。

③ 児童館

児童に健全な遊びを提供し、健康の増進及び体力の向上を図るとともに、情操を豊かにすることを目的として各種の事業を実施した。

ア) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
児童	777	560	815	945	959	878	756	595	587	556	578	741	8,747	8,379	368
保護者	613	470	668	739	645	714	591	689	514	464	485	561	7,153	7,004	149
合計	1,390	1,030	1,483	1,684	1,604	1,592	1,347	1,284	1,101	1,020	1,063	1,302	15,900	15,383	517

イ) 子育て支援事業(ポヨポヨクラブ・のびのびクラブ・ひよこクラブ)「毎週火・木・金曜日」・ふたごっちクラブ「毎月第1水曜日」(8月は学童夏休みの為ポヨポヨクラブ、ふたごっちクラブのみ実施)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
ポヨポヨクラブ	247	248	266	262	272	184	183	257	157	261	208	330	2,875	2,640	235
のびのびクラブ	266	156	346	144	/	310	127	143	127	172	184	242	2,217	2,177	40
ひよこクラブ	182	149	193	180	/	303	195	262	99	145	172	230	2,110	1,891	219
ふたごっちクラブ	20	/	24	21	27	19	9	19	17	0	27	36	219	206	13
合計	715	553	829	607	299	816	514	681	400	578	591	838	7,421	6,914	507

幼児を持つ保護者を対象とし、育児についての情報交換や仲間作りの場を提供することにより、育児に関する不安の解消を図るために実施した。毎月第1水曜日は、多胎児を持つ保護者を対象に「ふたごっちクラブ」として実施した。

ウ) 子育て支援事業「毎週水曜日」(8月は学童夏休みの為中止)

ボランティアによる絵本の読み聞かせやリズム遊び等を取り入れた子育て支援を実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
英語で遊ぼう	46	72	60	55	/	84	60	73	31	51	57	19	608	560	48
ママといっしょ	49	45	24	64	/	52	/	56	/	52	45	/	387	345	42
合計	95	117	84	119	0	136	60	129	31	103	102	19	995	905	90

エ) 企画事業「毎週土・日曜日」

児童自らの手で作り、描き、物事を演じる楽しさを味わうことにより、情操を豊かにするとともに、集団活動を通じて協調性及び責任感を認識させるために実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者	191	93	211	184	269	84	125	44	121	53	114	78	1,567	1,581	△ 14

オ) 図書貸出状況

児童の情操の向上に寄与するもの及び子育てに関する図書の閲覧、貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
登録者	17	10	18	3	16	10	4	4	3	3	3	5	96	105	△ 9
貸出(冊)	289	274	438	343	364	321	314	324	118	292	274	336	3,687	3,719	△ 32

カ) 年間事業実施状況

事業名	期日	内容	参加者
アネッサ発 クリーン大作戦	11月11日	施設利用者と地域住民とで行う地域の清掃活動に参加することでボランティア活動への意識を高めることを目的として実施した。 (地域福祉センターと共催)	170名
中高生による 子育てクラブ	通年	中高生ボランティアによる読み聞かせ、手あそびなど。	545名
母親クラブ 「乳幼児の為の 救急法」	9月21日	乳幼児を持つ保護者が家庭内における突発の事故に対処するための基礎知識を習得することを目的として実施した。 市原市消防団・姉崎消防署	125名
アネッサ探検隊	7月1日	自然に親しみながら情操を豊かにするとともに、集団生活を通して協調性及び責任感を認識させることを目的として実施した。	33名

		講師：柳池 繁 氏 ・ 田中 義和 氏	
おもいっきり体育室	6月 3日 8月 10日 1月 27日 3月 24日	参加者が自由に体を動かして、様々な遊びを楽しむことや、ボランティアと参加者同士の交流を図ることを目的として実施した。	230名
おもしろ実験教室	8月 5日	児童自らが創造し、自らの手で作る楽しさを体験することにより情操を豊かにするとともに集団活動を通じて協調性及び責任を認識させることを目的として実施した。 講師：市原袖ヶ浦少年少女発明クラブ	23名
昔あそび	6月 3日 7月 27日 8月 19日 2月 4日	ボランティアとの交流を図りながら、昔から傳承されている子どもの遊びを楽しみ、交流を図るために実施した。 (地域福祉センターと共催) シルバー友の会	246名
子育てクラブ 合同クリスマス会	12月 20日	未就学児とその保護者が安心して過ごせる場所を提供し、子供の成長と子育てに悩む保護者同士の交流の場として利用されることを目的として実施した。	236名
食の推進 「料理教室」	12月 9日 AM、PM	児童自らが創造し、自らの手で作る楽しさを体験することにより情操を豊かにするとともに集団活動を通じて協調性及び責任を認識させることを目的として実施した。	30名
食の推進 「食育座談会」	6月 29日	食について日頃の悩みなどを話し合い、食の大切さを学ぶとともに、食に対する適切な情報提供を行うことを目的として実施した。 栄養士：1名	52名
世代間交流事業 アネッサキッズ 卓球教室	7月 29日 7月 30日	高齢者の卓球グループの方々を講師として卓球教室を開催することで、世代間の交流を図ることを目的として実施した。(地域福祉センターと共催)	100名
ジャグリング 教室	9月 10日 2月 25日	創作活動であるジャグリングの発表の場としてジャグリング教室を実施した。 市原 Jug Jug	39名
こども トールペイント教室	9月 30日	児童自らの手で作る楽しさを知り情操を豊かにするとともに、協調性・責任感を認識させることを目的として実施した。 講師：黒川 美智子 氏	13名
母親クラブ 「ママのリフレッシュ講座」	5月 31日	日頃の育児疲れやストレスを発散し、リフレッシュしてもらうことを目的に「ガーランド作り」を実施した。 講師：北嶋 景子 氏	13名
子育てクラブ合同 大運動会	10月 18日	発育時期に分かれ実施している事業を合同にしてイベントを行うことで、通常事業とは違う情報交換や仲間作りの場の提供も兼ね、参加者間及び親子間の交流を図ることを目的に実施した。	164名
子育て座談会	7月 13日 3月 13日 3月 22日	育児についての日頃の悩みなどを話し合い、育児の大切さを学ぶとともに、育児に対する適切な情報提供を行うことを目的として実施した。	211名
チャレンジ 夏休みの課題	8月 8日 8月 9日 8月 10日	近隣小学校児童の夏休み期間中の学習をサポートすることを通じて世代間の交流を図り、相互理解を深めることを目的として実施した。(地域福祉センター及び青少年会館と共催)	87名
キッズ ボランティアクラブ	通年	児童のボランティア活動への参加促進を図ることを目的とし、小学生から高校生までの学生ボランティアによる読み聞かせやイベントの手伝い、壁面装飾の手伝いを実施。	80名

【成果・課題】

成 果	子育てクラブについては、少子化が進んでいる中でも利用率は伸びており、参加者から事業に対して満足の声が多く挙がっている。また、食育講座、子育て座談会、救急法といった講座への関心が高く好評であるため、今後継続して事業展開を行う。
課 題	企画事業等は、より多くの参加者を募るために苦慮しているところだが、アンケートの活用により利用者のニーズを把握する等、事業内容の充実を図る必要がある。

(3) 三和保健福祉センター管理運営事業

① 地域福祉センター

地域住民及びボランティア等の民間福祉団体の福祉活動の拠点として、各種福祉情報の提供を総合的に行い、もって地域住民の福祉の高揚を図った。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
ボランティアルーム	402	509	413	115	400	316	344	431	334	336	331	468	4,399	4,562	△ 163
研修室	234	266	261	361	216	262	247	290	196	227	163	294	3,017	2,857	160
多目的ホール	740	795	761	843	713	722	823	672	672	639	734	796	8,910	7,685	1,225
創作活動室	179	159	170	46	196	159	170	244	135	133	152	153	1,896	2,217	△ 321
合計	1,555	1,729	1,605	1,365	1,525	1,459	1,584	1,637	1,337	1,335	1,380	1,711	18,222	17,321	901

イ) 年間事業実施状況

事業名	期日	内容	参加者
おもちゃ図書館	4月～3月 (毎月第2・4土曜日)	障がい児と未就学児を対象に、おもちゃで遊ぶことを通して心身の健全な発達を促すとともに、保護者同士の交流を図ることを目的として、ボランティアグループ「かるがも」の運営により実施した。また、七夕やクリスマスなどのイベントやおぼけ屋敷等を実施した。	832名
ふれあいいきいきサロン	4月～3月 (毎月第3月曜日)	三和地区在住の65歳以上の方を対象に、趣味活動や健康体操等を実施し、住民同士の交流やつながりを深め、高齢者の孤立化と寝たきりの予防を図った。 講師：大前 陽子 氏	69名
さんあーとくらぶ	4月～3月 (第2日曜日)	障がい児者を対象としたボランティアによる絵画教室を実施した。 講師：米元 志慶子 氏	85名
フレンズ	4月～3月 (毎月第1・3木曜日)	発達の気になる未就学児を対象に、遊びの場と機会を提供し、遊びを通して健全な発達を促すとともに、保護者同士の交流を目的として、発達支援センターとボランティアの協力を得て実施した。	681名
おひさまひろば	4月～3月 (毎月第1月曜日)	地域の親子がボランティアと一緒に遊べる場を提供するとともに子育ての悩み相談や情報提供を行った。 11月6日 「ベビーダンス教室」実施 6月5日、2月5日 「ピラティス教室」実施	142名
自由空間	4月～3月 (毎月第2木曜日)	ひきこもりや不登校、社会に出ることが困難な方々を対象に相談や、談話することにより社会へ出ていくための支援を行った。	42名
歌声喫茶	7月12日 9月22日 11月15日	地域住民を対象に、音楽を通じて参加者相互のふれあいや交流を図り、また、サンハート利用団体に対して活動の披露の場を提供した。	148名
世代間交流事業	6月16日	三和保育所との共催で、60歳以上の市民と幼児による世代間の交流、ふれあいを目的として、工作を実施した。	45名
さんさん クリーン大作戦	12月01日	三和コミュニティセンターと共催で、地域住民やサンハート利用者、三和コミュニティ利用者が協力して清掃活動を行うことにより、交流を図りながら地域の環境美化を実践し、併せてボランティア活動の啓発を図ることを目的として、サンハート周辺のごみ拾いを実施した。	124名
サンハートまつり	1月28日	地域住民の交流を図るとともに、サンハートの周知、利用活性化を図ることを目的として、作品の展示会、舞台での発表会などを実施した。	222名
サンハート寄席	2月28日	高齢者や障がい者、乳幼児親子等の地域住民を対象に、講談と伝統芸能を披露する寄席を実施した。	58名

市民講座	5月20日	地域住民を対象に、福祉についての関心を深め、住み良い地域づくりを推進するために「認知症サポーター養成講座」講座を実施した。	14名
------	-------	---	-----

【成果・課題】

成 果	有料化になり施設利用減が懸念されたが、昨年度よりは貸室利用者が増加している。「サンハートまつり」、「さんさんクリーン大作戦」等の地域交流事業においては、昨年度同様に地区社協やネットワークの参加協力を得ることができ、また、日頃当センターを利用しているサークルの方々の積極的な参加により、地域住民と一体となった事業展開を行うことができた。
課 題	貸室利用者は増加しているが、料金の高い貸室については減少しており、目的にあった貸室利用を促していく。事業については、地区社協、ネットワークの方々やセンター利用者の協力が不可欠である為、今後も引き続き信頼関係を図り、事業参加に繋げる。

② 老人福祉センター

地域の高齢者が集うことにより、社会的孤立感の解消、身体的及び精神的な負担の軽減を図るとともに、健康で豊かな心で生きがいのある生活ができるよう各種教室を開催した。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
大広間(団体)	0	0	25	0	7	2	0	3	0	178	58	9	282	343	△ 61
大広間(個人)	404	401	390	399	373	344	225	105	129	220	241	223	3,454	5,317	△ 1,863
和室	72	43	52	79	32	97	54	66	47	68	52	58	720	1,037	△ 317
男性浴室	1,366	1,209	1,400	1,339	1,315	1,247	617	0	444	771	769	536	11,013	14,465	△ 3,452
女性浴室	835	713	815	779	786	716	338	0	249	432	439	306	6,408	9,552	△ 3,144
生活相談室	47	62	78	45	52	43	41	50	34	36	34	43	565	561	4
合計	2,724	2,428	2,760	2,641	2,565	2,449	1,275	224	903	1,705	1,593	1,175	22,442	31,275	△ 8,833

イ) 年間事業実施状況

事業名	期 日	内 容	参加者
気功体験教室	6月6、13、20、27日(全4回)	健康維持と仲間作りを目的として、気功体験教室を実施した。 講師：上久保 治子 氏	39名
健康体操教室	5月10、17、24、31日、10月4、11、18、24日(全8回)	高齢者の健康づくりを目的として、健康体操教室を実施した。 講師：大前 陽子 氏	129名
茶の湯体験教室	10月5、12、19、26日(全4回)	茶の湯体験を通じて高齢者に趣味活動と交流の場を提供することを目的とし実施した。 講師：白川 ますみ 氏	41名
ヨガ教室	7月5、12、19、26日 8月2、9日(全6回)	健康維持と仲間作りを目的として、ヨガ教室を実施した。 講師：古川 佳子 氏	73名
フラワーアレンジメント教室	1月26日(全1回)	フラワーアレンジメントを通じて高齢者に趣味活動と交流の場を提供することを目的とし実施した。 講師：茂木 朋美 氏	11名
笑う健康教室	9月5、19日 10月3、17日(全4回)	健康維持と仲間作りを目的として、ラフターヨガ教室を実施した。 講師：塩本 京子 氏	41名
一文字書教室	11月2、9、16、30日(全4回)	書道を通じて高齢者に趣味活動と交流の場を提供することを目的とし実施した。 講師：大野 文子 氏	30名
絵手紙教室	7月18、25日 11月21、28日(全4回)	絵手紙を通じて高齢者に趣味活動と交流の場を提供することを目的とし実施した。 講師：向井 艶子 氏	38名

シニア向け健康づくり教室	2月7、14、21日 (全3回)	健康維持と仲間作りを目的として、シニア向け健康づくり教室を実施した。 講師：市原市体育協会	21名
楽しく俳句教室	7月18、25日 11月21、28日 (全4回)	俳句を通じて高齢者に趣味活動と交流の場を提供することを目的とし実施した。 講師：木村 孝一 氏	55名
ポールを使ってウォーキング教室	6月5、12日 (全2回)	健康維持と仲間作りを目的として、ポールを使ってウォーキング教室を実施した。 講師：市原市体育協会	23名
シニア向け腰痛対策教室	12月12、19日 (全2回)	健康維持と仲間作りを目的として、シニア向け腰痛対策教室を実施した。 講師：梅津 行二 氏	25名
健康寿命を延ばそう教室	2月28日 (全1回)	健康講話を通じて高齢者に健康づくりと交流の場を提供することを目的とし実施した。 講師：包括支援センター「ひまわり」	12名

【成果・課題】

成 果	浴室機械設備の故障により長期的に休業したため、大幅な利用者減少になっている。事業については、アンケート結果でも要望が多く寄せられている高齢者の健康づくりに焦点を当てた事業（「シニア向け腰痛対策教室」「ポールを使ってウォーキング教室」）を今年度より実施し、サークルの立上げにも結びついた。また教養講座の男性の参加者が少なかった為、男性にも参加しやすい講座として「俳句教室」を企画し、男性参加者も多く好評のうちに終わった。
課 題	浴室については、今後も機械設備の点検の徹底、故障に対する早期対応を図る。事業については、今後もアンケート結果を反映させた事業実施を行うと共に、参加者の少ない教養講座については、事前の周知や広報を行い、参加者の増加に繋げる。

③ 児童館

児童に健全な遊びを提供し、健康の増進及び体力の向上を図るとともに、情操を豊かにすることを目的として各種の事業を実施した。

ア) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
児 童	509	497	677	768	889	663	581	533	532	423	493	701	7,266	7,316	△ 50
保護者	338	364	480	480	518	433	410	399	363	302	363	444	4,894	4,914	△ 20
合 計	847	861	1,157	1,248	1,407	1,096	991	932	895	725	856	1,145	12,160	12,230	△ 70

イ) 子育て支援事業

a) さんさんくらぶ・きらきらくらぶ「毎週火・金曜日」

乳幼児をもつ保護者を対象とし、育児についての情報交換や仲間作りの場を提供することにより、育児に関する不安の解消を図ることを目的とした児童厚生員による子育てクラブを実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者	177	195	287	268	263	241	211	186	128	132	193	291	2,572	2,214	358

b) よちよちくらぶ「毎月第1・4水曜日」

11ヶ月から1歳6ヶ月の乳児をもつ保護者を対象とし、育児についての情報交換や仲間作りの場を提供することにより、育児に関する不安の解消を図ることを目的とした児童厚生員による子育てクラブを実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者	30	26	34	26	18	24	21	15	3	2	20	15	234	359	△ 125

c) あかちゃんくらぶ「毎週木曜日」

3ヶ月から10ヶ月の乳児をもつ保護者を対象とし、育児についての情報交換や仲間作りの場を提供することにより、育児に関する不安の解消を図ることを目的とした児童厚生員による子育てクラブを実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者	64	46	44	41	31	26	20	20	20	75	76	69	532	577	△ 45

d) 英語で遊ぼう「毎月第3水曜日（学校の長期休暇期間を除く）」

幼児と保護者を対象とし、英語の歌に合わせた踊りや、手遊びなどを通じた親子のふれあいを目的としたボランティアによる子育てクラブを実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者(組)	11	10	2	2		0	7	20		9	6		67	124	△57

ウ) クラフト&プレイ「毎週日曜日」

児童自らの手で作り、描き、物事を演じる楽しさを味わうことにより、情操を豊かにするとともに、集団活動を通じて協調性及び責任感を認識させるために実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者	44	52	69	70	38	77	74	64	71	67	81	54	761	663	98

エ) 児童館ボランティアクラブ

児童を対象に、ボランティアの育成を目的として、児童館ボランティアクラブに登録してもらい、パネルシアターの作成、発表会を行った。

期 日	内 容	参加者
8月1, 2, 3, 4, 22日	子育て支援イベントにおいて、パネルシアターの発表および大型絵本の読み聞かせ	7名
3月10日	高齢者施設「三和の里」において、パネルシアターおよび大型絵本の発表	3名

オ) 放課後クラブ「毎週火～金曜日（学校の長期休暇期間を除く）」

小学生の放課後の居場所づくりを目的とした工作教室等。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者	5	4	0	6		5	9	4	0	0	6	60	99	48	51

カ) 図書貸出状況

児童の情操の向上に寄与するもの及び子育てに関する図書の閲覧、貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
登録者	11	5	5	16	27	10	7	5	4	7	8	8	113	136	△23
貸出(冊)	262	223	293	288	312	240	284	268	124	131	200	288	2,913	5,564	△2,651

キ) 年間事業実施状況

事業名	期 日	内 容	参加者
グリーンガーデン	随時	花の種蒔き及び水やり（児童館脇のウッドデッキに朝顔のグリーンカーテンを設置）	123名
ベビーマッサージ教室	6月8日	助産師の指導によるベビーマッサージ 講師：嶋津一恵氏	18名
人形劇	5月19日 12月12日	「グループともだち」による人形劇上演 「とんとん」による人形劇上演	40名 29名
夏休みクラフトバンドで作るミニカゴ作り教室	7月27日	クラフトバンドでミニカゴを作る 講師：ポシエット	9名
夏休み子ども布ぞうり教室	8月5日	タオルで布ぞうりを作る 講師：宋倉春江氏	6名
夏休み子ども絵手紙教室	8月16日	はがきとエコバックに絵手紙を作成 講師：向井艶子氏	9名
親子ベビーヨガ教室	9月8日	親子で体験 講師：篠宮方美氏	12名
知って良かったママの救急法	10月13日	乳幼児のケガや誤飲などの手当の仕方実技指導 講師：市原市中央消防署員	17名

世代間交流事業	12月1日	オカリナサークルによるオカリナ演奏	28名
	12月5日	ボランティアによる読み聞かせ	21名
	12月8日	〃	36名

【成果・課題】

成 果	各事業ごとに参加者は定着してきており、実施回数の増加を要望する声も聞かれる。
課 題	児童館利用者について減少の傾向にある為、需要に沿った事業を企画しながら広く市民に周知し、利用者の増加に繋げる。

④ 障がい者福祉センター

障がいを持った方に対し、社会との交流促進や余暇支援のための便宜を提供し、福祉の増進を図るための事業を実施した。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
研修室	530	468	421	618	377	685	376	311	339	487	363	500	5,475	5,460	15
プレイルーム	459	418	520	810	625	547	462	497	648	374	498	504	6,362	5,599	763
障がい者談話室	459	418	520	810	625	547	462	497	648	374	498	504	6,362	5,599	763
療育相談室	46	64	53	111	105	63	30	24	14	28	39	47	624	663	△ 39
合計	1,494	1,368	1,514	2,349	1,732	1,842	1,330	1,329	1,649	1,263	1,398	1,555	18,823	17,321	1,502

(4) 南部保健福祉センター管理運営事業

① 地域福祉センター

地域住民及びボランティア等の民間福祉団体の福祉活動の拠点として、各種福祉情報の提供を総合的に行い、もって地域住民の福祉の高揚を図った。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
ボランティアルーム	176	359	154	343	162	232	259	248	156	111	117	146	2,463	2,137	326
調理実習室	22	36	45	32	25	22	25	44	53	66	38	72	480	355	125
多目的室	559	1,357	821	1,043	969	1,558	993	1,348	610	571	640	721	11,190	7,162	4,028
創作活動室	76	95	92	229	329	56	50	161	20	23	22	27	1,180	580	600
会議室②	44	100	123	228	97	345	172	239	123	74	140	118	1,803	1,326	477
合計	877	1,947	1,235	1,875	1,582	2,213	1,499	2,040	962	845	957	1,084	17,116	11,560	5,556

イ) 年間事業実施状況

事業名	期 日	内 容	参加者
子育て支援事業 (子育てサロン)	7月24、31日 8月7、21日	市内在住の就学前の児童を対象に、児童館の休館日を利用して遊戯室を開放することにより、親子のふれあいなどを目的に地域の福祉の推進を図った。 協力団体：南総地区民生委員児童委員協議会 市原市更生保護女性会南総支部	20名
子育て支援事業 (子どもフェスタ)	8月20日	小学校入学前の児童とその家族を対象に、遊びと交流の場を提供することを目的に実施した。 協力団体：南総・加茂子育て家庭支援員協議会 南総地区社会福祉協議会、南総消防署	257名
ふれあいサロン事業	12月5日 12月19日 1月9日 2月6日 2月20日	在宅介護をしている方または介護の経験のある方、将来、介護に不安のある方を対象にふれあいの場を設けることで、日々の悩みの解消や介護疲れの緩和を図ることを目的に実施した。 協力団体：市原市地域包括支援センター トータス 伊藤整体療術院	47名

地域交流事業 (歌声喫茶)	5月10日 9月28日 12月13日	地域住民を対象に、音楽を通じて参加者相互のふれあいや交流を図った。 協力団体：チャーリーウクレレクラブ アコーディオンいちほら	167名
世代間交流事業 (昔あそび)	3月 4日	子どもから高齢者まで様々な世代の方々が交流する機会を作り、ボランティアとして参加していただき、昔遊び等を実施する。 協力団体：いちほらシルバー友の会	39名
障がい者交流事業 (ボッチャ)	3月17日	当センターを利用する地域住民に対し、障がいのある方が自らを理解してもらうことにより、地域住民との絆を強化することを目的に実施した。	31名

【成果・課題】

成 果	地域の福祉の活動拠点として機能し、各種団体に多く利用していただいた。また、住民参加による各種事業を実施し、子どもから高齢者まで様々な世代の方々が交流できる場の提供及び相談支援による地域の福祉窓口となるよう努めた。
課 題	利用する方に安全且つ快適にご利用いただけるように、設備管理も含め施設管理を徹底していくとともに、ボランティアの育成等に繋がる事業を展開していく必要がある。

② 中高齢健康増進施設

地域の中高齢者の健康増進に寄与するために、各種教室を開催した。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
健康増進施設	4,455	3,977	5,024	4,923	4,997	4,252	4,261	3,883	3,084	3,340	3,295	3,426	48,917	56,212	△ 7,295

イ) 年間事業実施状況

事業名	期 日	内 容	参加者
安全講習会	通年	安全管理を徹底し事故防止を図ることを目的に実施した。	261名
水中ウォーキング	毎月1回(月曜日)	健康増進室・歩行用プール安全講習会受講登録済みの方を対象に、安全且つ効果的な水中ウォーキングを学ぶとともに、健康で明るく活気に満ちたまちづくりの推進を図ることを目的に実施した。	177名
月例講習会	毎月1回(月曜日)	健康増進室・歩行用プール安全講習会受講登録済みの方を対象に、介護予防と生活習慣の改善及び健康で明るく活気に満ちたまちづくりの推進を図ることを目的に実施した。 講師：株式会社 パーソンアンドパーソンスタッフ	144名

【成果・課題】

成 果	中高齢、特に高齢者の健康増進を目的として、各種教室の開催やインストラクターによる運動指導及び安全指導を実施した。
課 題	利用者数が昨年度と比較すると約7,000人減少し、特に日曜日の利用者数の減少が著しいことから、アンケート等を活用し、利用率の向上に努める。

③ 老人福祉センター

健康で豊かな心で生きがいのある生活ができるよう各種教室を開催した。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
大広間(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大広間(個人)	254	237	259	249	279	229	266	286	253	247	295	312	3,166	2,926	240
和室	56	52	46	86	56	104	29	28	18	5	0	11	491	459	32
合計	310	289	305	335	335	333	295	314	271	252	295	323	3,657	3,385	272

イ) 年間事業実施状況

事業名	期 日	内 容	参加者
健康寿命を延ばす料理教室	11月22日 2月7日 (全2回)	料理実習を通して日々の食生活全般の活性化を図るとともに交流の場を提供することで地域の福祉の推進を図る。 講師：千葉県循環器病センター栄養科部長 石橋裕子 氏	36名
健康体操教室	7月～11月 (全10回)	高齢者の健康づくりを目的として、健康体操教室を実施した。 講師：山口 紀美代 氏	195名
ヨガ教室	5月～10月 (全16回)	健康維持と仲間作りを目的として、ヨガ教室を実施した。 講師：古川 佳子 氏	385名
ハーモニカ教室	11月～12月 (全4回)	ハーモニカを通じて高齢者に趣味活動と交流の場を提供することを目的として実施した。 講師：高松 洋子 氏	42名
囲碁クラブ	11月～1月 (全10回)	囲碁という趣味を通し、交流の場を提供することを目的として実施した。 講師：森 重文 氏	81名
太巻き寿司教室	6月13日 1月23日 (全2回)	巻き寿司という趣味を通し、交流の場を提供することを目的として実施した。 講師：小出 一子 氏	37名
エンジョイ・ボール・エクササイズ	2月14, 21, 28日 (全3回)	ボールエクササイズという活動を通し、交流の場を提供することで、地域の福祉の推進を図る。 講師：根本 壽美子 氏	61名
茶道教室	9月～10月 (全4回)	茶道という趣味活動を通し、交流の場を提供することで高齢者福祉の推進を図る。 講師：坂野 操 氏	47名
健康カラオケ教室	2月～3月 (全4回)	カラオケという趣味活動を通して交流の場を提供することで、地域の福祉推進を図る。 講師：関氏 彰 氏	44名

【成果・課題】

成 果	健康講座、教養講座等を実施し、高齢者の健康増進、生きがい活動・交流の場として機能した。また、老人福祉センター相談事業として、情報提供、各種相談等、高齢者の生活支援を行った。
課 題	老人福祉センターが、高齢者の憩いの場としての役割を果たしていくために、ニーズを掴み、効果的な事業を展開していく必要がある。

④ 児童館

児童に健全な遊びを提供し、健康の増進及び体力の向上を図るとともに、情操を豊かにすることを目的として各種の事業を実施した。

ア) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
児 童	298	266	403	427	585	333	294	228	220	192	273	323	3,842	4,741	△ 899
保 護 者	222	234	305	323	395	275	246	208	185	168	208	257	3,026	3,734	△ 708
合 計	520	500	708	750	980	608	540	436	405	360	481	580	6,868	8,475	△ 1,607

イ) 子育て支援事業

a) あかちゃんくらぶ『ほっぷ』 「毎週金曜日」

3ヶ月から1歳頃の乳幼児をもつ保護者を対象とし、育児についての情報交換や仲間作りの場を提供することにより、育児に関する不安の解消を図ることを目的として、子育てクラブを実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者	24	48	78	88	90	103	57	48	68	41	55	78	778	750	28

b) ちびっこくらぶ『すてっぷ』 「毎週水曜日」

未就学児をもつ保護者を対象とし、育児についての情報交換や仲間作りの場を提供することにより、育児に関する不安の解消を図ることを目的として、子育てクラブを実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者	59	76	119	122	161	126	87	138	95	87	96	86	1,252	1,291	△ 39

c) 親子クラブ『じゃんぷ』 「毎週土曜日」

未就学児をもつ保護者を対象とし、育児についての情報交換や仲間作りの場を提供することにより、育児に関する不安の解消を図ることを目的として、子育てクラブを実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者	76	68	60	104	66	64	72	28	34	58	54	45	729	804	△ 75

ウ) つくってあそぼう (クラフト&プレイ) 「第1・3日曜日」

児童自らの手で作り、描いたもので遊ぶことで情操を豊かにし、創作の楽しさを味わうことを目的として実施した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
参加者	12	6	18	26	22	21	12	25	10	8	29	18	207	239	△ 32

エ) 図書貸出状況

児童の情操の向上に寄与するもの及び子育てに関する図書の閲覧、貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
登録者	14	11	19	16	25	13	13	13	6	10	10	15	165	68	97
貸出(冊)	160	143	220	279	381	136	178	109	37	75	130	146	1,994	1872	122

オ) 年間事業実施状況

事業名	期 日	内 容	参加者
年長児来館促進事業	8月2～4日 22日 31日	来館する中、中高生から活動に関する相談に応じ、支援を行うとともに、環境美化と情操教育を図ることを目的として絵本の読み聞かせ実施した。	9名
自然観察会 「なのはな探検隊」	7月17日 9月16日	自然に親しむことにより、自然を大切にし、情操を豊かにすることを目的として、ザリガニ釣りなどを実施した。 講師：里山よくし隊 (代表) 鈴木 幹夫氏	31名
人形劇 おはなし会	6月28日 7月22日 3月7日	森川 永枝 氏によるマリオネット (人形劇) 上演 児童厚生員によるエプロンシアター、大型絵本など 「ぐりとぐら」による手袋シアター、紙芝居など	43名 13名 36名
親子参加型講習会「親子食育講座」	8月23日	幼児を持つ保護者が家庭内における突発の事故に対応する為の基礎知識を習得することを目的とした。 講師：市原市・生活安全課	35名
親子参加型講習会 「ママのためのハッピー・ハロウィーン」 (ママのリフレッシュ)	10月29日	幼児を持つ母親が日頃のストレスを発散し、リフレッシュさせることにより家庭で楽しく子育てに取り組み、子どもが健やかに育つように支援することを目的として、親子で仮装しハロウィーンに関するパネルシアターや工作やダンスを実施した。	34名
親子参加型講習会 「親子で遊ぼう」 (親子体操)	1月18日	乳幼児を持つ保護者が日頃のストレスを発散し、リフレッシュさせることにより家庭で楽しく子育てに取り組み、子どもが健やかに育つように支援することを目的として、親子で楽しめる体操や身体遊びを実施した。 講師：蔭山 陽子 氏	22名
親子参加型講習会 「ベビーマッサージ」	11月24日	幼児を持つ母親が日頃のストレスを発散し、リフレッシュさせることにより家庭で楽しく子育てに取り組み、子どもが健やかに育つように支援することを目的として、ベビーマッサージを実施した。 講師：椎名 沙耶香 氏	23名
キッズクラブ	8月 (全12回)	未就学児や小学生とその保護者が、夏休み期間中に楽しめる場を提供することを目的として、工作・ゲーム・おはなし会などを実施した。	236名

世代間交流事業 「昔あそび」	3月4日	子どもから高齢者まで様々な世代の方々が交流する機会を作り、理解を深めることを目的として昔あそびを実施した。 協力：いちほらシルバー友の会	39名
-------------------	------	---	-----

【成果・課題】

成 果	季節行事や遊びを含む様々な体験を通して、子どもの健全育成を図ることができた。また、育児不安になりがちな母親からの相談に応じるなど、子育てを楽しめるような支援に努めた。
課 題	児童館から発信した、地域の各種団体と連携したイベントの開催やボランティア育成など、地域における子どもの拠点となるよう検討する必要がある。

④ 障がい者福祉センター

障がいを持った方に対し、社会との交流促進や余暇支援のための便宜を提供し、福祉の増進を図るための事業を実施した。

ア) 月別利用状況[貸室]

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	H28度	増減
障がい者交流室	4	177	0	22	0	26	15	150	12	25	52	30	513	446	67
会議室①	307	494	287	442	111	500	4,810	380	217	238	239	185	8,210	2566	5,644
合計	311	671	287	464	111	526	4,825	530	229	263	291	215	8,723	3,012	5,711